



Optimal Biz
Windows クライアント
リファレンスマニュアル

最終更新日 2024 年 10 月 20 日
(Web サイト ver.9.22.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
[]	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
[]	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問 \(FAQ\)』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

[1 Windows クライアントについて](#)

[2 エージェントの基本操作](#)

[3 コントロールパネルの使用方法](#)

[4 管理サイトからの指示による動作](#)

[5 関連アプリの使用方法](#)

1 Windows クライアントについて	6
1.1 概要	7
1.2 OS サポートポリシー	7
1.3 エージェントの動作環境	8
1.4 エージェントが行うこと	8
1.5 エージェントが収集する情報	9
2 エージェントの基本操作	11
2.1 エージェントの状態を確認する	12
2.2 ライセンスを認証する	13
2.3 タスクトレイアイコンメニューを表示する	14
2.4 ツールバーを表示する	16
2.5 Windows 端末から管理サイトに同期する	18
2.5.1 ツールバーで同期する場合	18
2.5.2 タスクトレイアイコンで同期する場合	18
2.6 機器情報を登録する	19
3 コントロールパネルの使用方法	22
3.1 コントロールパネルを表示する	23
3.2 エージェントを起動する	26
3.3 エージェントを終了する	27
3.4 ライセンスを解除する	29
3.5 Windows 端末からエージェントを最新版にアップデートする	31
3.6 エージェントを削除する	34
3.7 プロキシ認証の設定を変更する	37
3.8 プライバシーポリシーを表示する	38
3.9 Windows 端末やエージェントの情報を表示する	39

4 管理サイトからの指示による動作	41
4.1 プロキシサーバーが設定された場合	42
4.2 ロック画面が表示された場合	43
4.2.1 リモートロックの解除コードで解除する場合	44
4.2.2 リモートロックの解除コードが更新されていた場合	46
4.3 ドライブの暗号化を設定された場合	48
4.3.1 TPM チップ搭載機器の場合	48
4.3.2 TPM チップ非搭載機器の場合	49
4.4 SIM 抜き差し監視が設定された場合	51
4.4.1 正規の SIM として登録されるタイミング	51
4.4.2 正規の SIM から解除されるタイミング	51
4.4.3 ロック画面が表示されるタイミング	52
4.4.4 ロック画面を解除する	52
4.5 Windows 情報保護 (WIP) が設定された場合	53
5 関連アプリの使用方法	54
5.1 リモートサポート	55
5.1.1 リモートサポートの動作環境	55
5.1.2 リモートサポートを起動する	56
5.2 SaaS ID 連携	58

1 Windows クライアントについて

この章では、製品の概要や動作環境などを説明します。

1.1 概要

本製品は、専門の知識を必要とせず、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Windows 端末にアプリ「Optimal Biz エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。

 本書はキッティングされた Windows 端末を前提に、操作方法を説明しています。キッティングが完了していない場合は、事前にキッティングを行ってください。詳細については、以下を参照してください。

 『Windows キッティングマニュアル』

 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。

- Microsoft の OS サポートポリシーに準拠。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的な下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。

サポート対象例	<ul style="list-style-type: none">● Windows 10：各エディション、バージョンで定められている期限までサポート● Windows 11：各エディション、バージョンで定められている期限までサポート Windows 8、Windows 7、Windows 8.1 のサポートは終了しました。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1.3 エージェントの動作環境

エージェントをインストール可能な OS と Windows 端末の動作環境です。

- ☑ エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。
- ☑ 日本国内でのみ利用が可能です。

OS	Windows 10 Home (22H2 以上) Windows 10 Pro (22H2 以上) Windows 10 Education (22H2 以上) Windows 10 Enterprise (22H2 以上) Windows 10 Enterprise 2015 LTSC Windows 10 Enterprise 2016 LTSC Windows 10 Enterprise 2019 LTSC Windows 11 Home (23H2 以上) Windows 11 Pro (23H2 以上) Windows 11 Education (22H2 以上) Windows 11 Enterprise (22H2 以上) ☑ 32 ビット版と 64 ビット版に対応。 ☑ Windows 10 Home/Pro、Windows 11 Home/Pro は、64 ビット版 ARM に対応。ただし、同一ネットワーク内の機器情報を収集することができません。 ☑ Windows 10、Windows 11 の S モードには、対応していません。本製品を使用する場合は、S モードを解除してください。ただし、S モードは解除すると再度設定することができません。 S モードの詳細については、以下を参照してください。 🔗 S モードの Windows 10 および Windows 11 に関するよくあるご質問 - Microsoft サポート
CPU	1GHz 以上の CPU
メモリ	1GB (32 ビット版) / 2GB (64 ビット版) 以上のメインメモリ
HDD	1GB 以上の空き容量
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G、Wi-Fi または有線でインターネットへアクセスができること。 直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信 (443 番ポート) ができること。

1.4 エージェントが行うこと

概要	説明
Windows 端末の情報の収集	定期的に Windows 端末の情報を取得してサーバーに送信する。
Windows 端末の設定	定期的にサーバーから設定を取得して Windows 端末に設定する。
同一ネットワーク内の機器情報の収集	エージェントが入っているネットワークと同一のネットワーク内にある機器情報を定期的に取得し、サーバーに送信する。 ☑ 管理サイトの設定により、取得しない場合もございます。設定の詳細については管理者にお問い合わせください。 ☑ ARM 64 ビット版では、同一ネットワーク内の機器情報の収集が動作できません。

1.5 エージェントが収集する情報

エージェントは、端末の情報を定期的に取得してサーバーに送信します。取得する情報は以下の項目になります。また、エージェントが取得した情報の内容は、管理サイトから CSV ファイルをダウンロードして確認することができます。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「CSV で編集」

 OS が認識していない情報は管理サイトには反映されません。

 3G、4G/LTE、5G 接続などのモバイル通信を行っているときも、モバイル端末で使用されている Wi-Fi や LAN ボードなどの MAC アドレスの情報を元に認証が行われます。

カテゴリー	項目
機器情報	OS バージョン
	コンピューター名
	ワークグループ
	Windows バージョン
	システム製造元
	システムモデル
	シリアル番号
	種別
	位置情報
	既定 Web ブラウザーの名前
	既定 Web ブラウザーのバージョン
	既定電子メールプログラムの名前
	既定電子メールプログラムのバージョン
	通常使うプリンターの名前
	通常使うプリンターのポート
	アプリ一覧
	Windows 自動更新
	ファイアウォール
	ウイルス対策ソフト
	スパイウェア対策ソフト
	スクリーンセーバー
	ドライブ暗号化
	パスワードポリシー
	パスワード有効期限
	パスワード履歴記録数
	パスワード変更禁止期間
	複雑なパスワードを強制する
	リモートロック状態
	リモートデスクトップ
	SIM 抜き差し監視登録済み SIM 一覧

カテゴリー	項目
	Microsoft Update 更新プログラム
ハードウェア情報	CPU
	メモリ
	マザーボード
	ビデオカード
	TPM バージョン
	BIOS メーカー
	BIOS バージョン
	BIOS リリース日付
	ドライブ総容量
	ドライブ空き容量
	ユーザー名
	SID
	ネットワーク情報
NIC 名	
接続方法	
MAC アドレス	
IP アドレス	
デフォルトゲートウェイ	
DHCP	
DHCP サーバー	
DNS サーバー	
DNS サフィックス	
ネットワーク	
エージェント情報	エージェントバージョン
	通信日時
	認証日時
Optimal Biz 情報	ゾーン
	ポリシー
	ログ

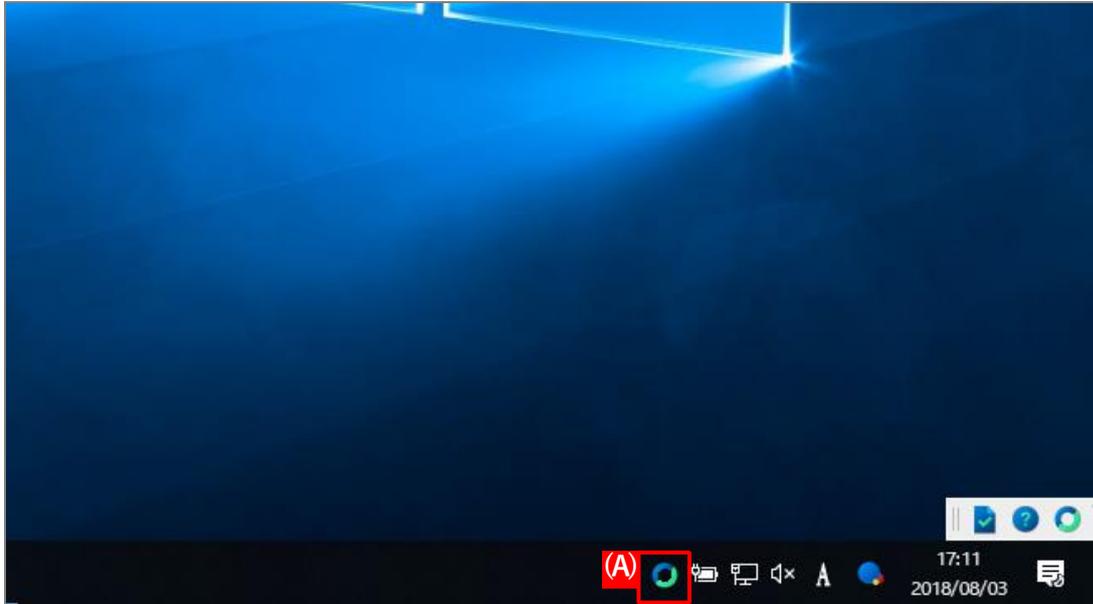
2 エージェントの基本操作

この章では、メニュー画面の表示や各ボタンの説明、位置情報アクセスポリシーの表示方法など、エージェントの基本操作について説明します。

2.1 エージェントの状態を確認する

エージェントの状態を (A) タスクトレイアイコンの表示によって確認することができます。

 エージェントによる位置情報の取得が有効、または無効になったときは、確認のバルーンが画面に表示されます。



◆タスクトレイアイコンの表示状態

アイコンの状態	説明
通常状態 (カラー表示)	エージェントが正常に動作している状態です。
通信失敗状態 (グレー表示)	エージェントが管理サーバーとの通信をしていない状態です。 インターネットに接続されていない、もしくは、エージェントの一時停止を行っている状態です。エージェントの一時停止が行われており、再度エージェントを起動する場合は、以下を参照してください。  「エージェントを起動する」26 ページ
ライセンス解除状態 (カラー表示でアイコン 右上に赤の！マーク)	ライセンス認証が行われていない状態です。以下を参照して、ライセンス認証を行ってください。  「ライセンスを認証する」13 ページ

2.2 ライセンスを認証する

ライセンス認証を解除後にエージェントのアンインストールを中止する場合など、再度ライセンス認証が必要な場合の手順について説明します。

- 【1】** タスクトレイアイコンをダブルクリックします。



- 【2】** ライセンス認証画面が表示されます。企業コード、認証コードを入力します。

- 【3】** [認証]をクリックします。

 企業コード、認証コードは、管理者へお問い合わせください。

A screenshot of a Windows dialog box titled 'ライセンス認証 - Optimal Biz'. The dialog box has a light gray background and a blue header bar. It contains the following elements:

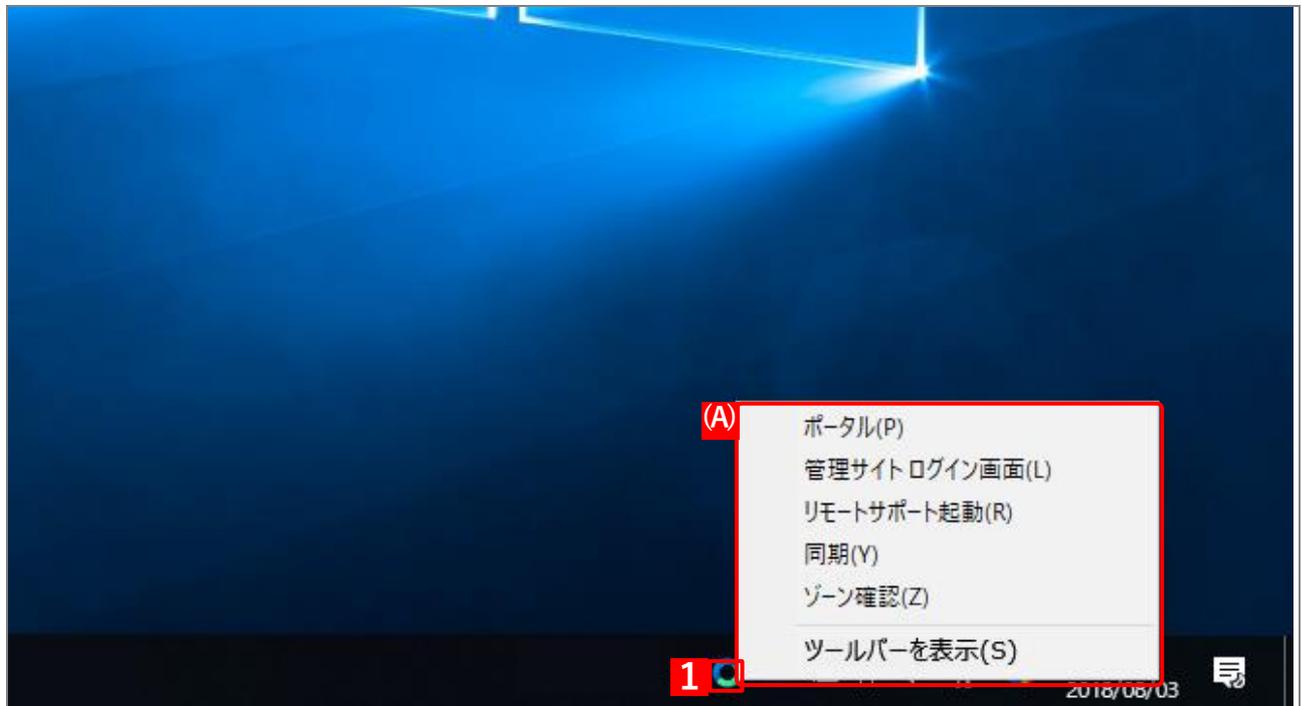
- A blue circular icon with a white 'O' inside, followed by the text: 'お手元の企業コードと認証コードを入力して 認証ボタンを押してください。'
- An unchecked checkbox labeled 'ユーザーID・パスワードで認証する'.
- A text field labeled 'サーバーURL' containing 'https://'.
- A text field labeled '企業コード' (highlighted with a red box and the number '2').
- A text field labeled '認証コード'.
- At the bottom right, there are two buttons: '認証' (highlighted with a red box and the number '3') and 'キャンセル'.

2.3 タスクトレイアイコンメニューを表示する

タスクトレイアイコンで表示されるメニューから、各種の操作を行うことができます。

【1】 タスクトレイアイコンを右クリックします。

⇒ (A) タスクトレイアイコンメニューが表示されます。



◆タスクトレイアイコンメニューの表示内容



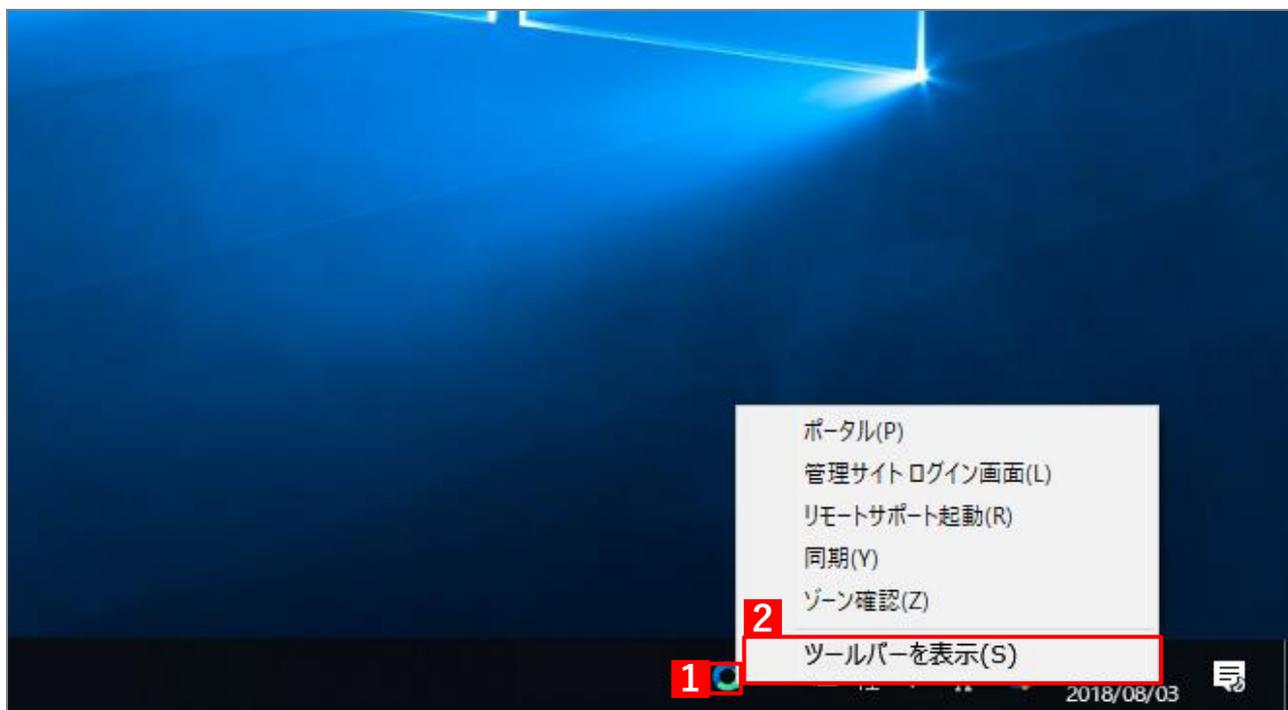
項番	項目	説明
1	ポータル	ポータル画面が開きます。機器情報などの登録、変更が行えます。詳細は以下を参照してください。 🔗 「機器情報を登録する」 19 ページ
2	管理サイトログイン画面	管理サイトログイン画面が開きます。管理者の方のみご利用いただけます。管理サイトの使用方法については、以下を参照してください。 🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』 📌 管理者の設定により、表示されない場合もございます。
3	リモートサポート起動	リモートサポートを起動します。詳細は以下を参照してください。 🔗 「リモートサポート」 55 ページ

項番	項目	説明
4	同期	<p>エージェントが定期的に反映している Windows 端末設定をボタンをクリックしたタイミングで反映します。Windows 端末に管理サイトの設定を任意のタイミングで反映させたいときに使用します。詳細は以下を参照してください。</p> <p> 「Windows 端末から管理サイト」18 ページ</p>
5	ゾーン確認	<p>現在のゾーン情報を表示します。</p> <p> 管理サイトでゾーンポリシー構成が設定されている場合、表示されます。詳細については、以下を参照してください。</p> <p> 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Windows」 - 「Zone Management」</p>
6	ツールバーを表示 または ツールバーを隠す	<p>ツールバーの表示・非表示を切り替えます。</p> <p>ツールバー表示時に「ツールバーを隠す」が、非表示時に「ツールバーを表示」が表示されます。詳細は以下を参照してください。</p> <p> 「ツールバーを表示する」16 ページ</p>

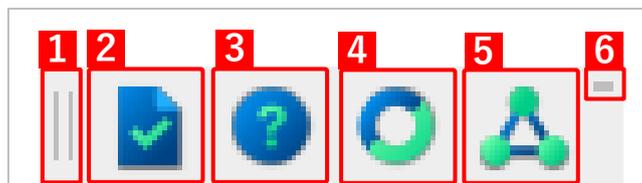
2.4 ツールバーを表示する

タスクトレイアイコンで表示されるメニューから、ツールバーを表示させます。ツールバーに表示されるボタンから、各種の操作を行うことができます。

- [1]** タスクトレイアイコンを右クリックします。
- [2]** [ツールバーを表示] をクリックします。



◆ ツールバーの表示内容



項番	項目	説明
1	[移動グリップ]	ドラッグするとツールバーを移動できます。
2	[ポータル]	ポータル画面が開きます。機器情報などの登録、変更が行えます。詳細は以下を参照してください。 ☞ 「機器情報を登録する」 19 ページ
3	[リモートサポート起動]	リモートサポートを起動します。詳細は以下を参照してください。 ☞ 「リモートサポート」 55 ページ
4	[同期]	エージェントが定期的に反映している Windows 端末設定をボタンをクリックしたタイミングで反映します。Windows 端末に管理サイトの設定を任意のタイミングで反映させたいときに使用します。詳細は以下を参照してください。 ☞ 「Windows 端末から管理サイト」 18 ページ

項番	項目	説明
5	[ゾーン]	ゾーン情報を表示します。  管理サイトでゾーンポリシー構成が設定されている場合、表示されます。詳細については、以下を参照してください。  『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Windows」 - 「Zone Management」
6	[最小化アイコン]	ツールバーをデスクトップに表示しなくなります。最小化したツールバーはタスクトレイアイコンメニューから再表示できます。

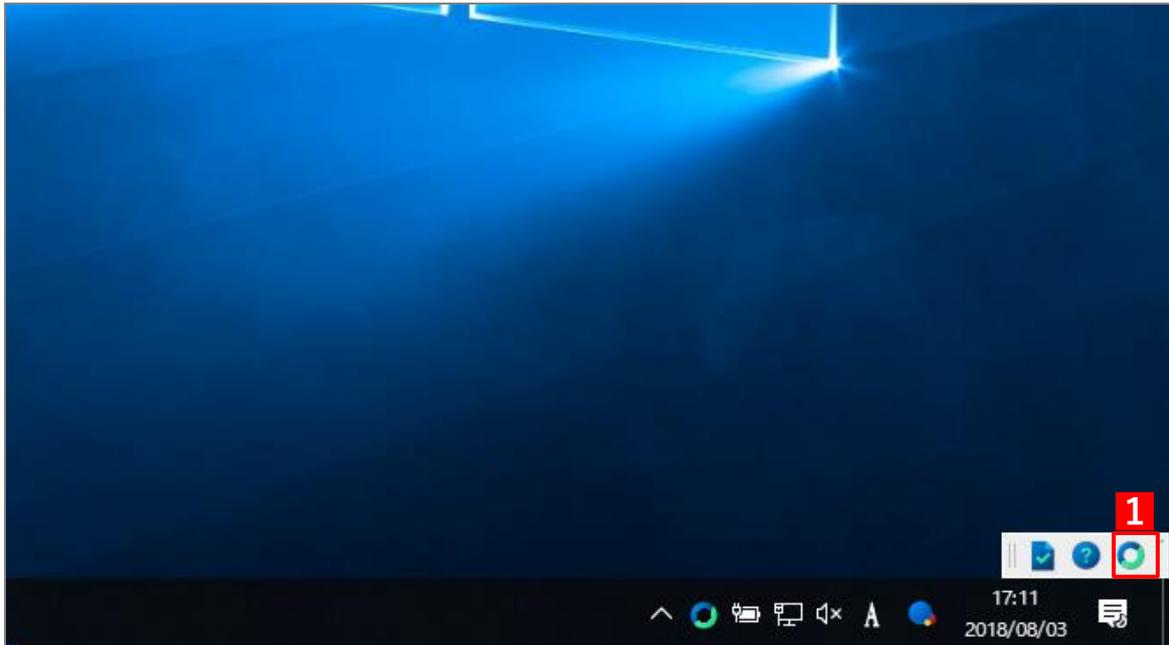
2.5 Windows 端末から管理サイトに同期する

管理サイトとの同期は定期的に行われますが、定期時刻を待たずに自由なタイミングで同期することができます。情報や設定の更新を定期時刻前に行うことができます。

☑ 管理サイト側で Windows 端末が削除された場合は、次回の同期時に Windows 端末側のライセンス認証が自動で解除されます。

2.5.1 ツールバーで同期する場合

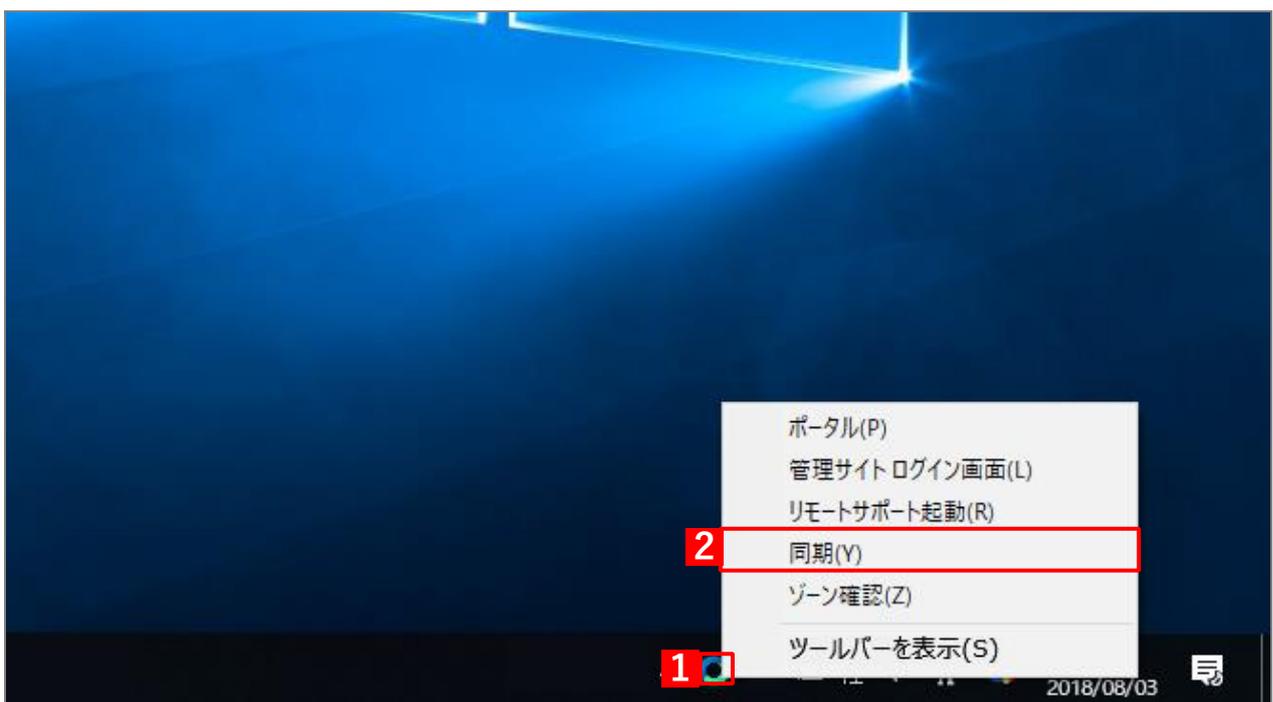
【1】 ツールバーの [同期] をクリックします。



2.5.2 タスクトレイアイコンで同期する場合

【1】 タスクトレイアイコンを右クリックします。

【2】 [同期] をクリックします。



2.6 機器情報を登録する

以下の場合、機器情報の登録を行ってください。

- ライセンスを認証したときに、機器情報の登録を行わなかった場合
- 設定している機器情報を変更したい場合

管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目の追加を行うと、「機器情報登録」画面に表示され、リストからの選択や直接入力で、端末情報の登録や変更を行うことができます。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 管理サイトで、Windows ポータルを表示に設定してください。

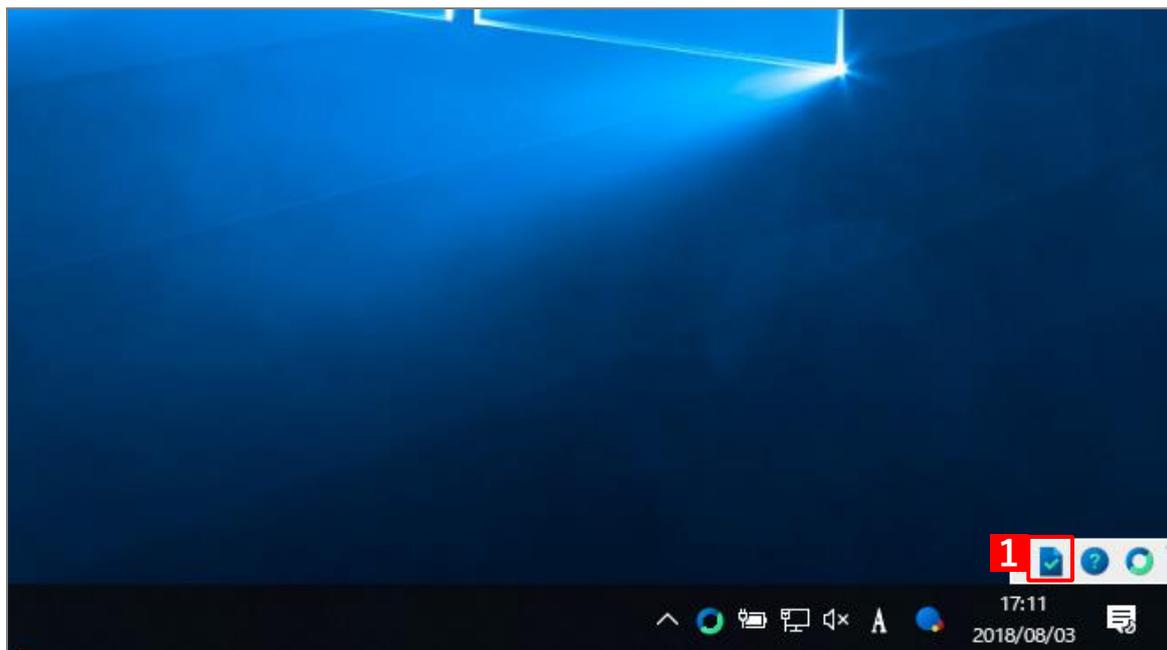
 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」 - 「ポータル表示」

[1] ツールバーまたはタスクトレイアイコンメニューの [ポータル] をクリックします。

⇒ ポータルホーム画面が表示されます。

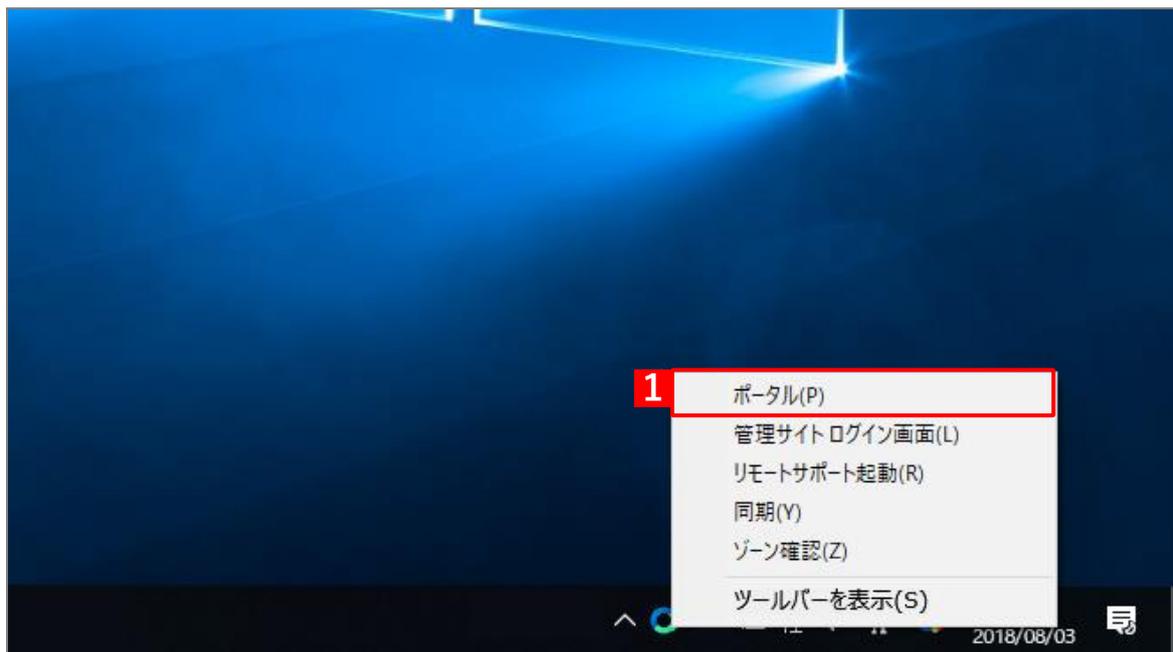
- ☑ ツールバーの表示方法は、以下を参照してください。

 「ツールバーを表示する」16 ページ



✎タスクトレイアイコンメニューの表示方法は、以下を参照してください。

📖「タスクトレイアイコンメニューを表示する」14 ページ



【2】 「機器情報を変更する」をクリックします。



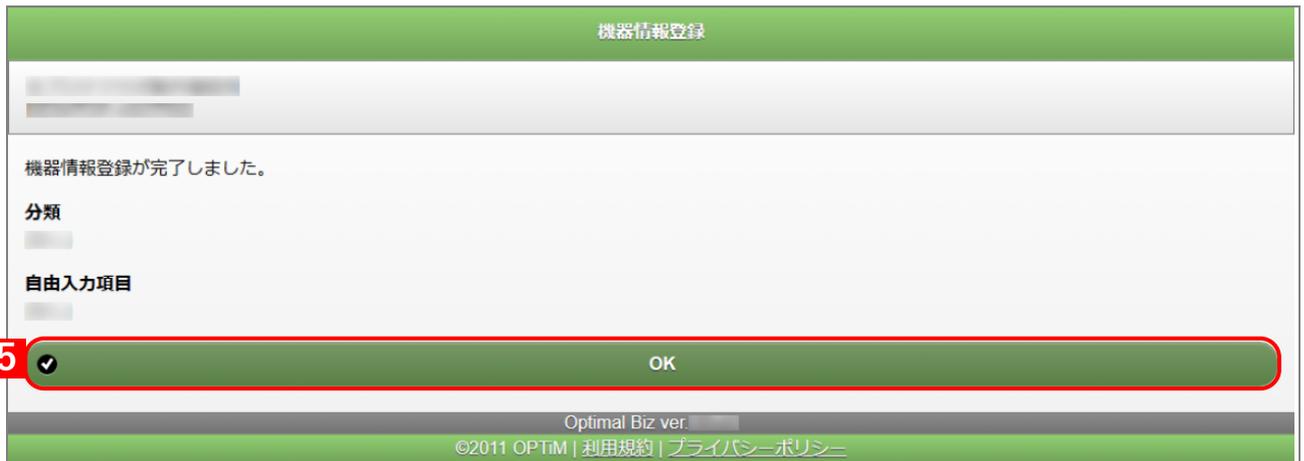
【3】 必要事項を選択、入力します

【4】 「登録する」をクリックします。

⇒機器情報の登録が完了します。



【5】 [OK] をクリックします。

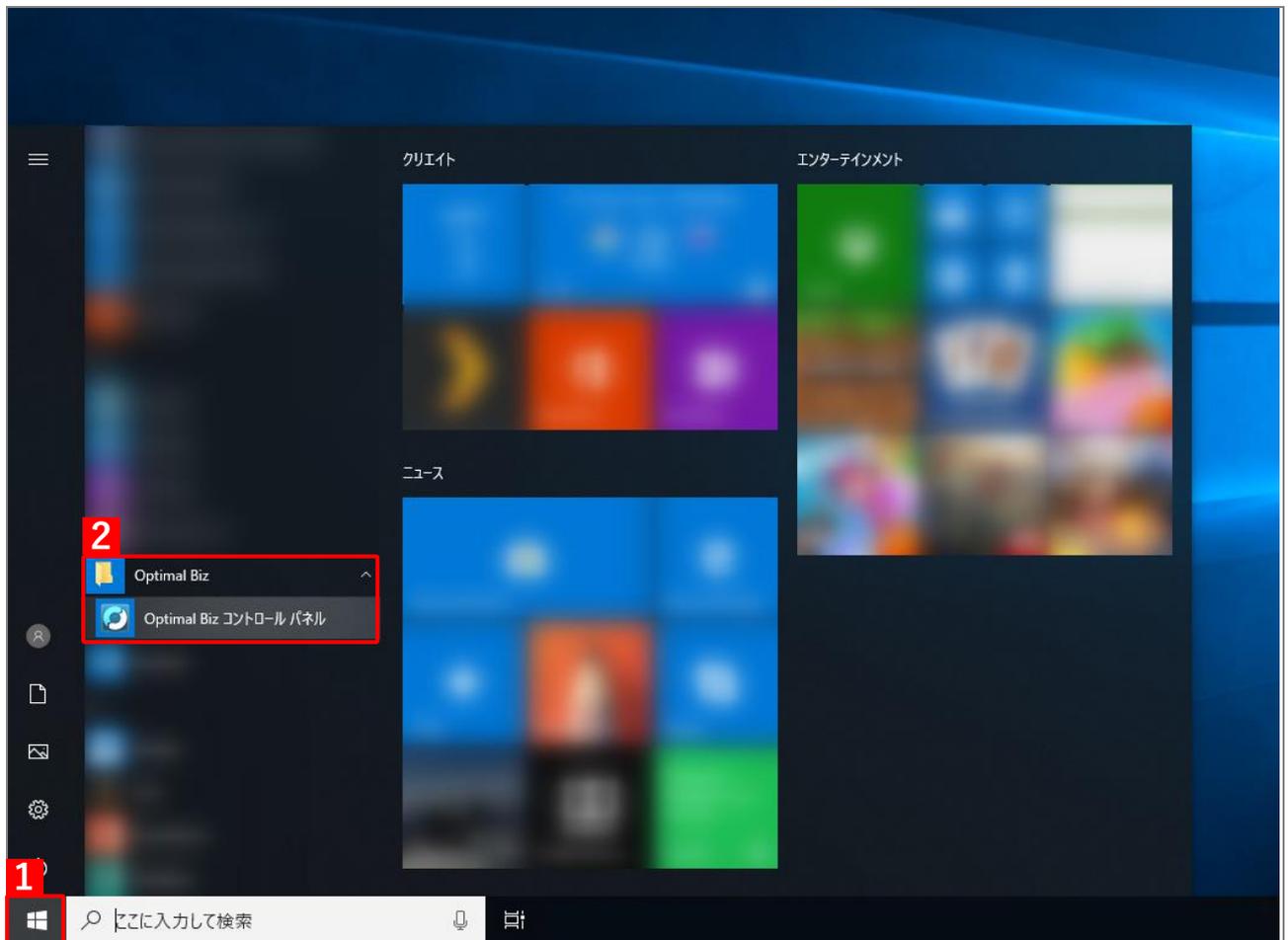


3 コントロールパネルの使用方法

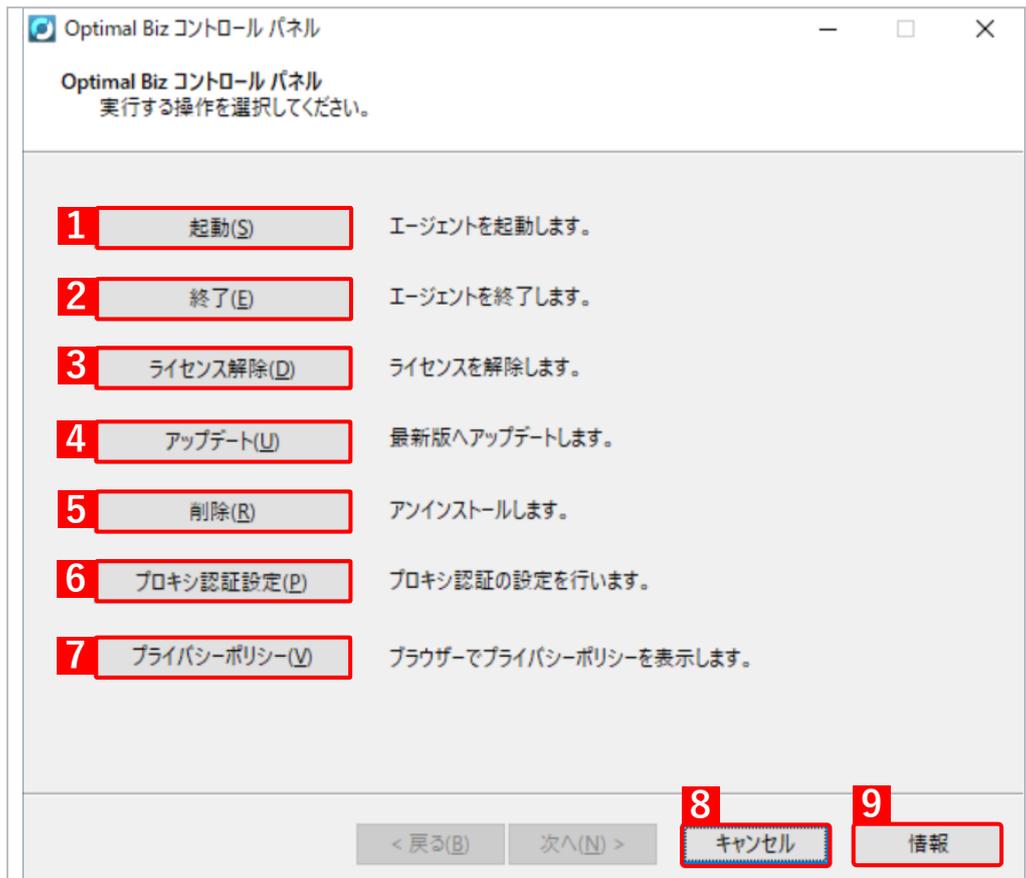
この章では、コントロールパネルで行えるエージェントの起動や終了の他、エージェントの各種の制御について説明します。

3.1 コントロールパネルを表示する

- 【1】 画面左下のスタートボタンをクリックします。
- 【2】 [Optimal Biz] → [Optimal Biz コントロールパネル] をクリックします。



◆コントロールパネルの表示内容

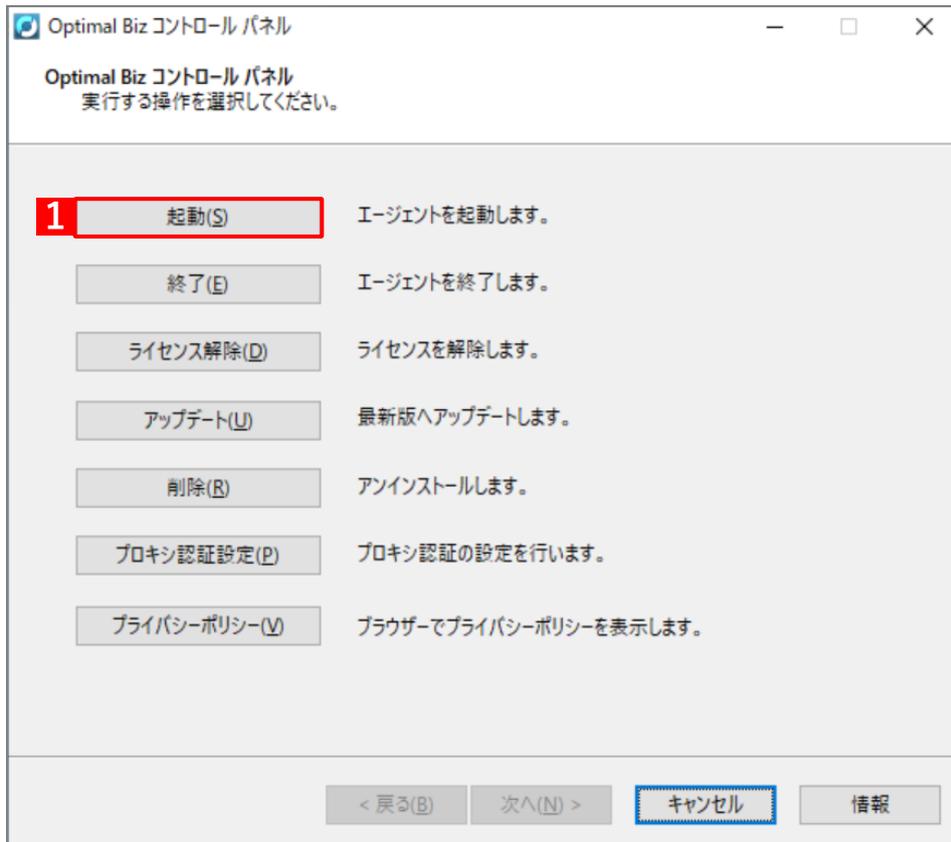


項番	項目	説明
1	[起動]	エージェントが起動し Windows 端末の管理・運用を開始します。詳細は以下を参照してください。 🔗 「エージェントを起動する」 26 ページ
2	[終了]	エージェントが一時停止します。再度エージェントを起動するには [起動] をクリックしてください。詳細は、以下を参照してください。 🔗 「エージェントを終了する」 27 ページ
3	[ライセンス解除]	ライセンス認証を行う前の状態になり本製品は使用できなくなります。詳細は以下を参照してください。 🔗 「ライセンスを解除する」 29 ページ
4	[アップデート]	通常はエージェントが定期的にアップデートしていますが、ボタンをクリックしたタイミングでアップデートを行います。エージェントを最新の状態に更新するとき 사용합니다。詳細は以下を参照してください。 🔗 「Windows 端末からエージェントを最新版にアップデートする」 31 ページ
5	[削除]	エージェントをアンインストールします。詳細は以下を参照してください。 🔗 「エージェントを削除する」 34 ページ
6	[プロキシ認証設定]	プロキシ認証の設定を行います。詳細は以下を参照してください。 🔗 「プロキシ認証の設定を変更する」 37 ページ
7	[プライバシーポリシー]	ブラウザーでプライバシーポリシーを表示します。詳細は以下を参照してください。 🔗 「プライバシーポリシーを表示する」 38 ページ
8	[キャンセル]	コントロールパネルを終了します。

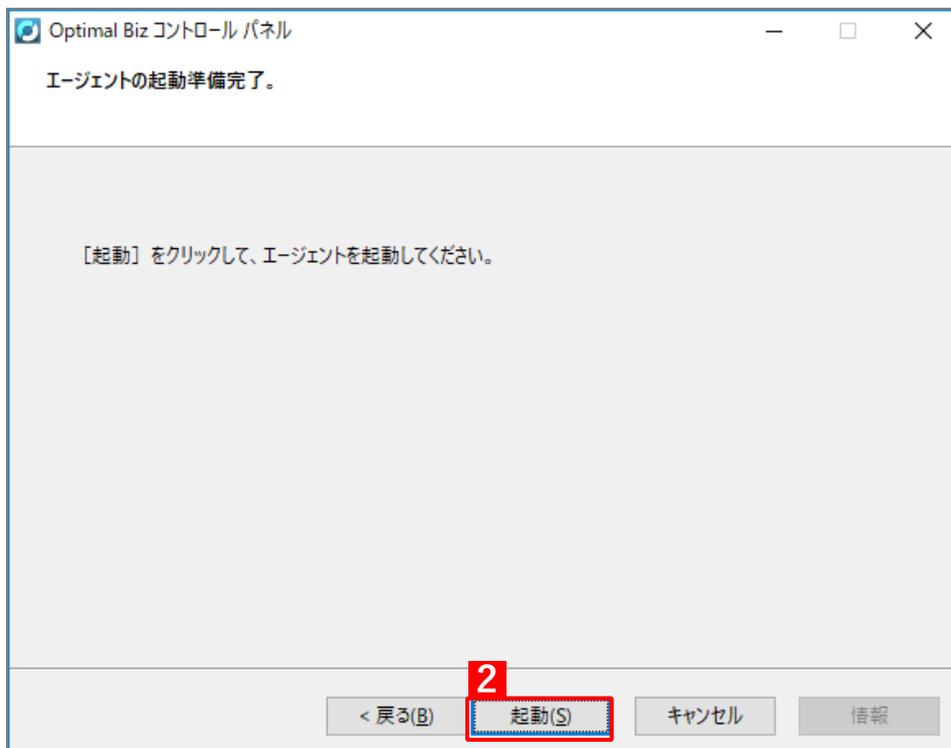
項番	項目	説明
9	[情報]	ご使用の Windows 端末やエージェントの情報を表示します。詳細は以下を参照してください。  「Windows 端末やエージェントの情報を表示する」39 ページ

3.2 エージェントを起動する

- 【1】** コントロールパネルを表示し、[起動] をクリックします。

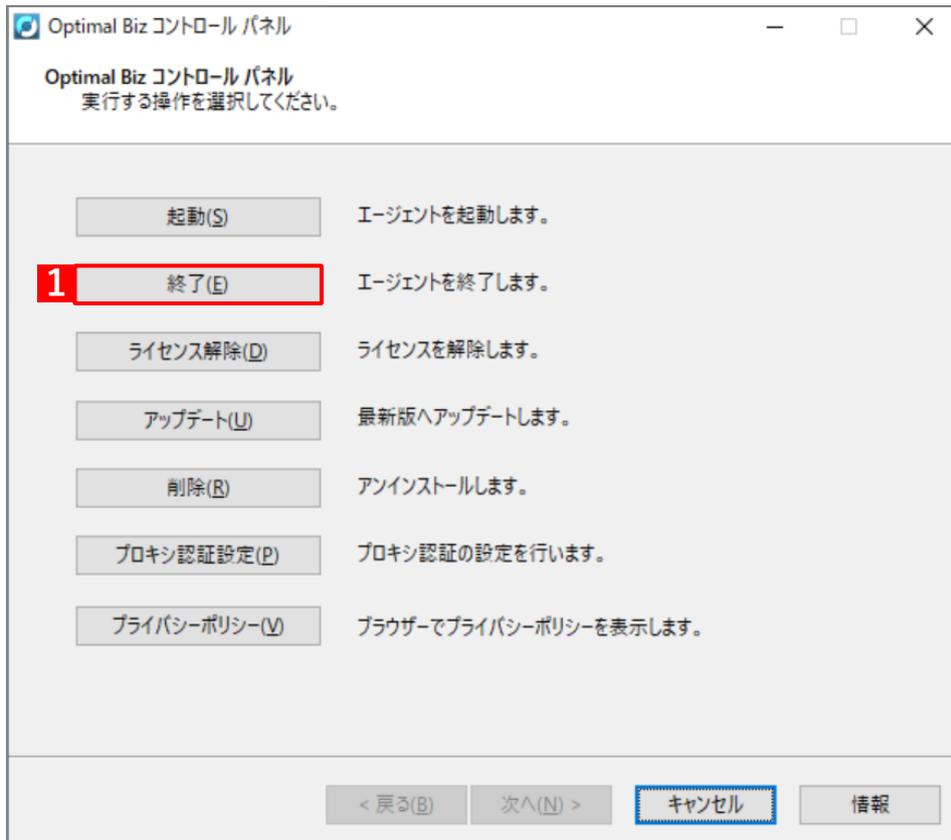


- 【2】** [起動] をクリックします。



3.3 エージェントを終了する

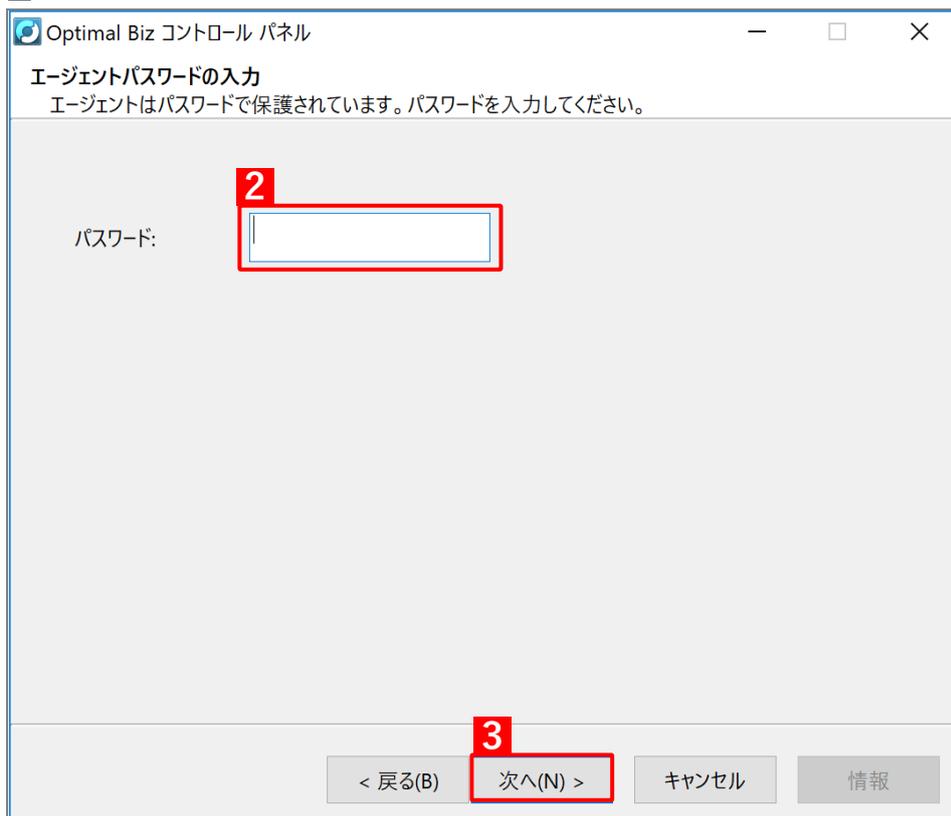
【1】 コントロールパネルを表示し、[終了] をクリックします。



【2】 パスワードを入力します。

【3】 [次へ] をクリックします。

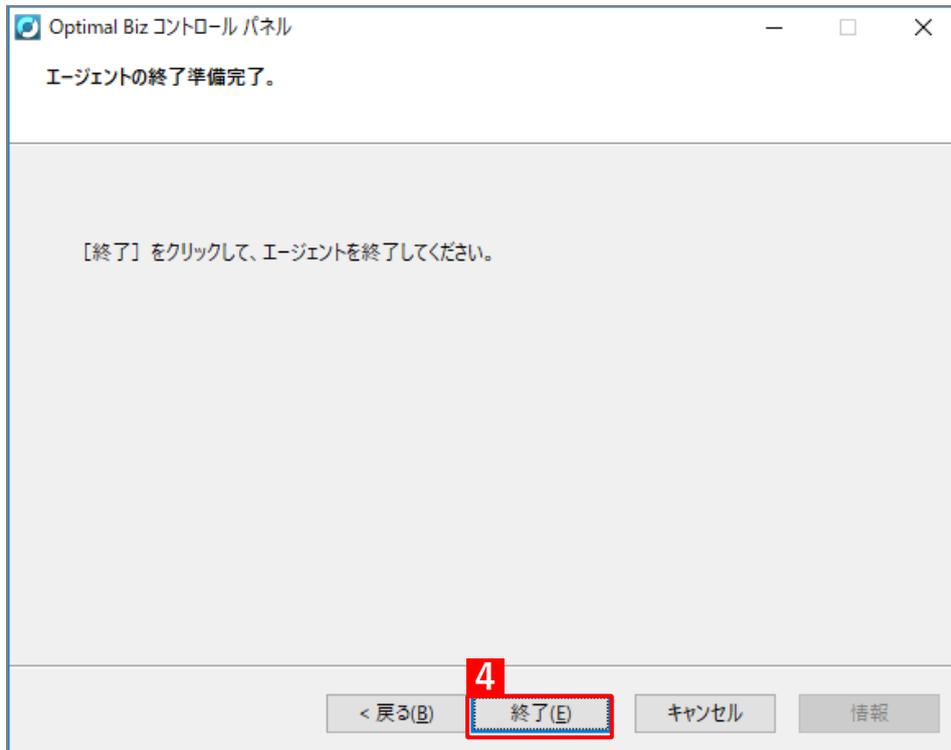
 パスワードは管理者へお問い合わせください。



【4】 [終了] をクリックします。

⇒ エージェントが終了します。

 Windows 端末を再起動するとエージェントは起動します。



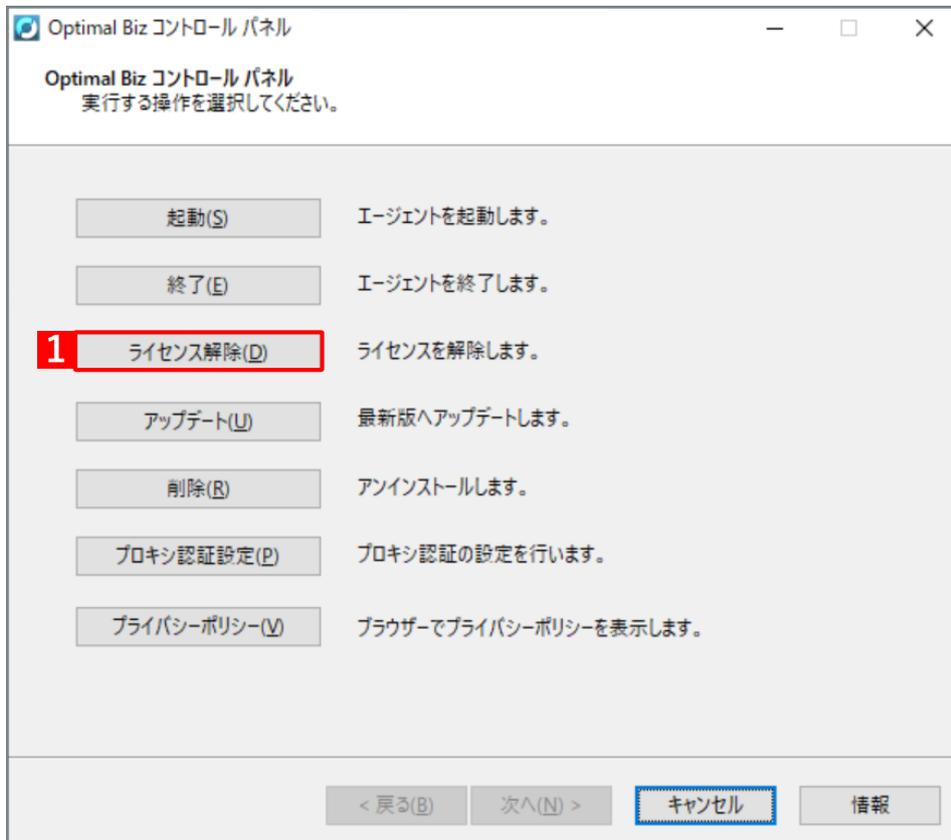
3.4 ライセンスを解除する

エージェントのアンインストールを行うには、事前にライセンスの解除を行います。本操作でライセンスを解除したあとに、エージェントのアンインストールを行います。アンインストールについては、以下を参照してください。

📖 「エージェントを削除する」 34 ページ

🔗 管理サイトから Windows 端末が削除された場合は、次回の同期時にライセンス認証が解除されます。

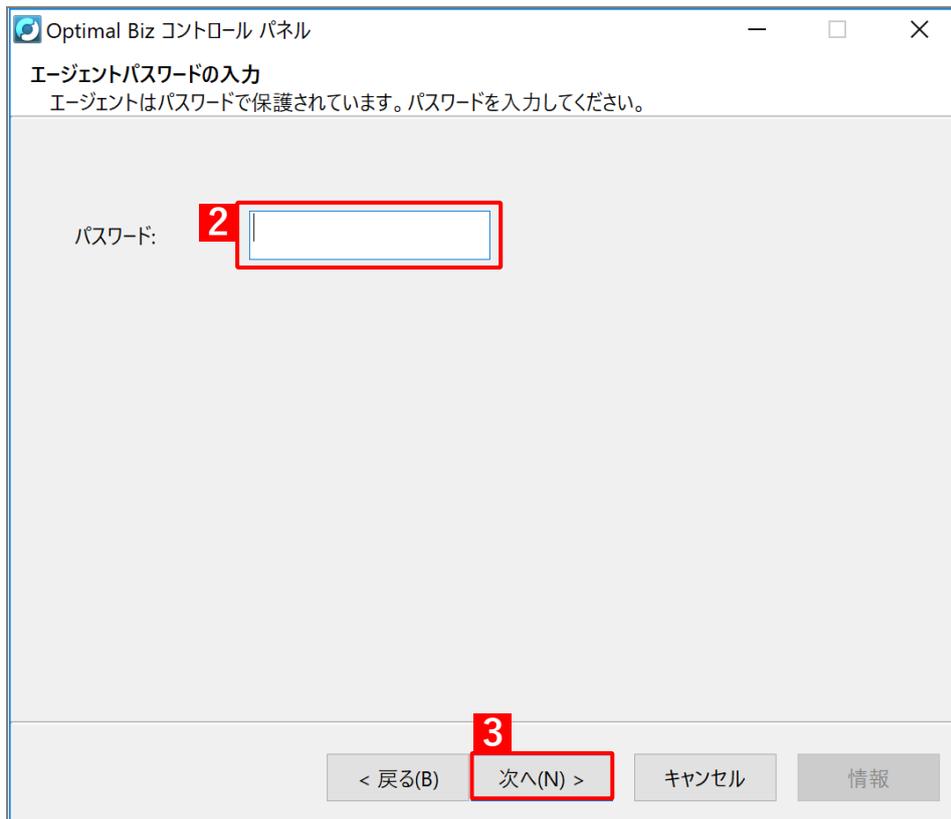
【1】 コントロールパネルを表示し、[ライセンス解除] をクリックします。



【2】 パスワードを入力します。

【3】 [次へ] をクリックします。

 パスワードは管理者へお問い合わせください。



The screenshot shows a dialog box titled "Optimal Biz コントロール パネル". The main text reads "エージェントパスワードの入力" and "エージェントはパスワードで保護されています。パスワードを入力してください。". Below this, there is a label "パスワード:" followed by a text input field. A red box with the number "2" highlights the input field. At the bottom of the dialog, there are four buttons: "< 戻る(B)", "次へ(N) >", "キャンセル", and "情報". A red box with the number "3" highlights the "次へ(N) >" button.

【4】 [解除] をクリックします。

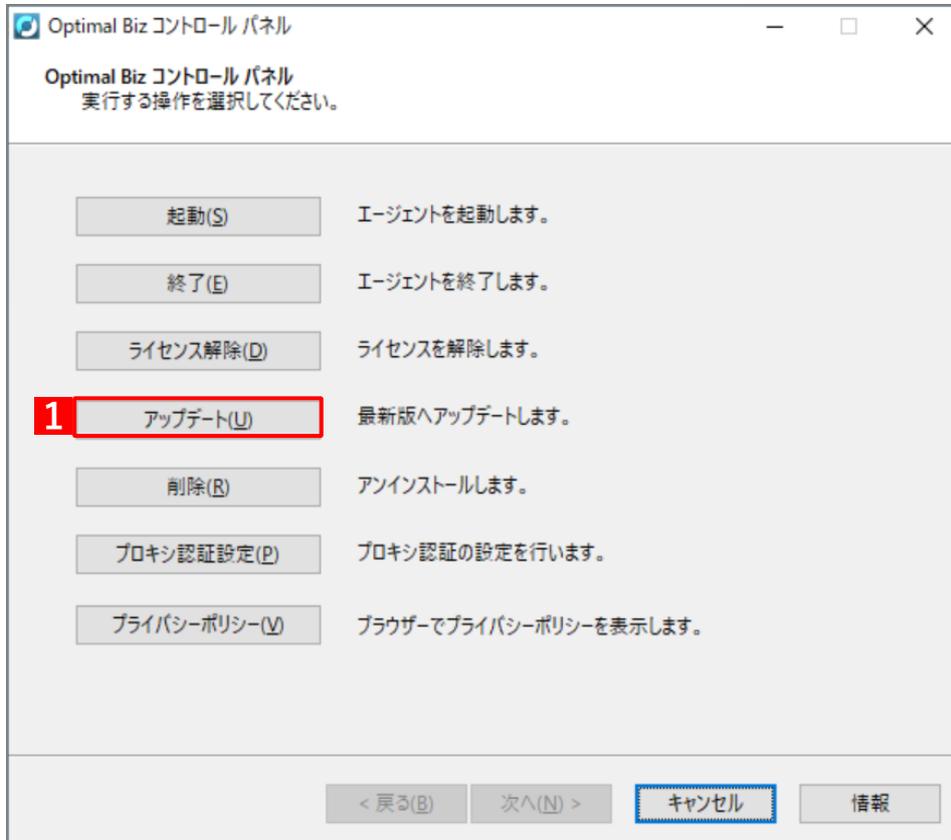


The screenshot shows a dialog box titled "Optimal Biz コントロール パネル". The main text reads "ライセンスの解除準備完了。" and "[解除] をクリックして、ライセンスを解除してください。". At the bottom of the dialog, there are four buttons: "< 戻る(B)", "解除(D)", "キャンセル", and "情報". A red box with the number "4" highlights the "解除(D)" button.

3.5 Windows 端末からエージェントを最新版にアップデートする

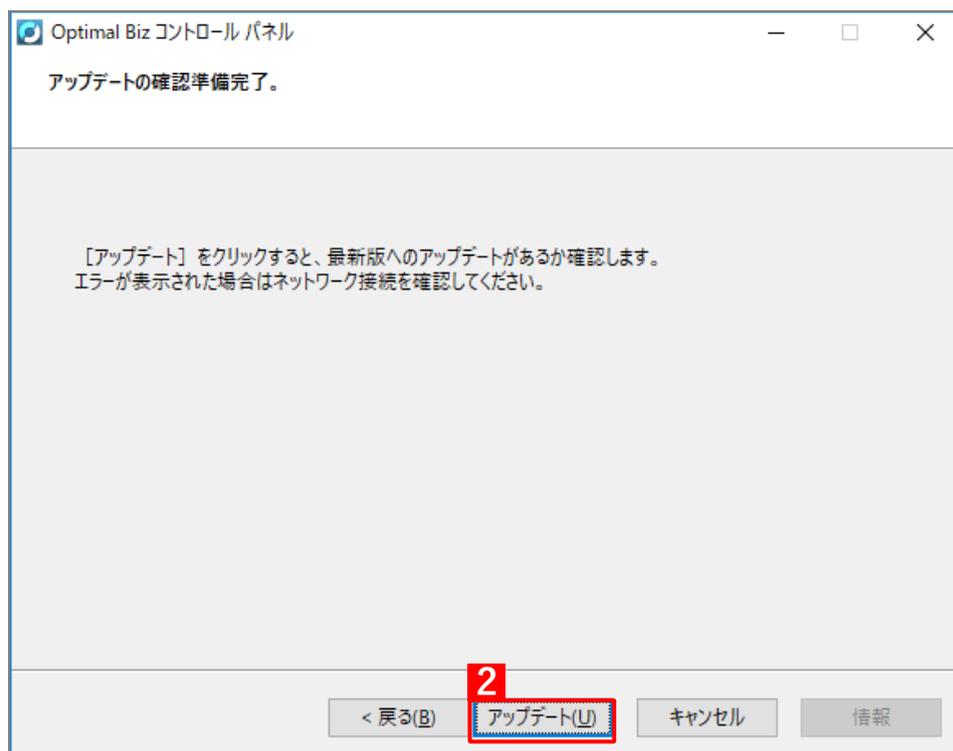
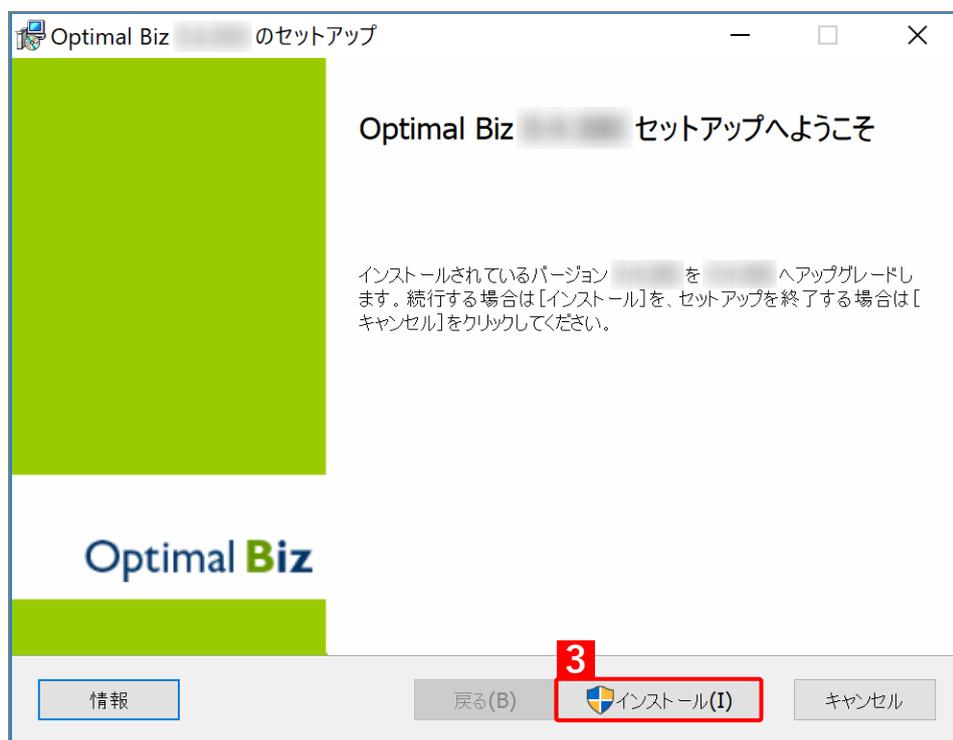
定期的な自動で行われるエージェントのアップデートを、任意のタイミングで行う手動アップデートについて説明します。

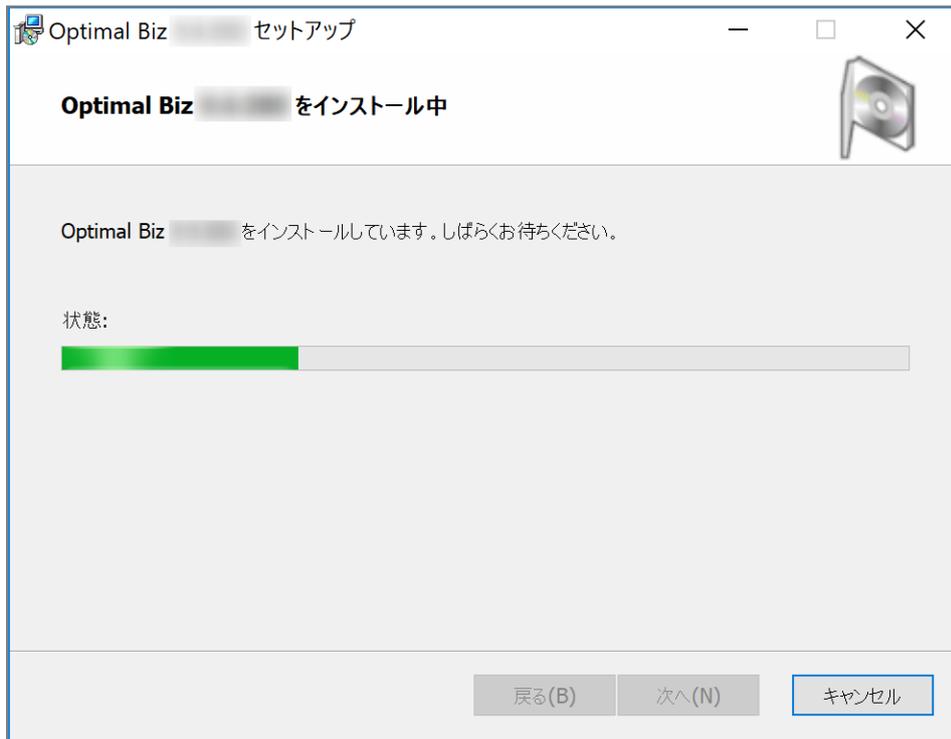
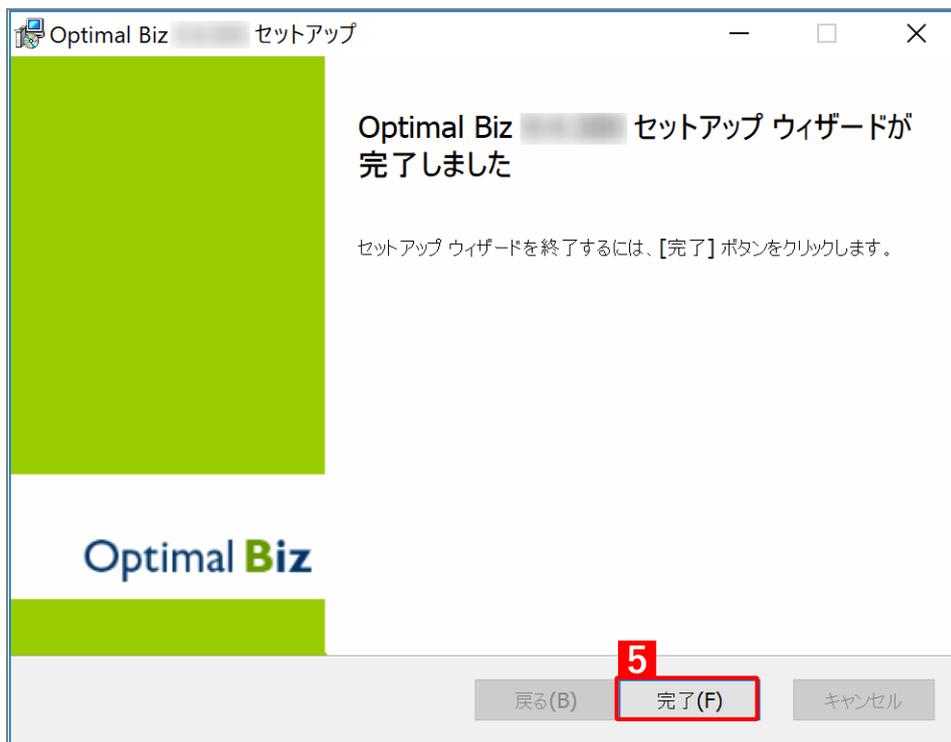
[1] コントロールパネルを表示し、[アップデート] をクリックします。



【2】 [アップデート] をクリックします。

すでに最新版がインストールされている場合はメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、[OK] をクリックしてください。

**【3】 [インストール] をクリックします。**

【4】 アップデートをしています。しばらくお待ちください。**【5】** アップデートが完了しました。[完了] をクリックします。

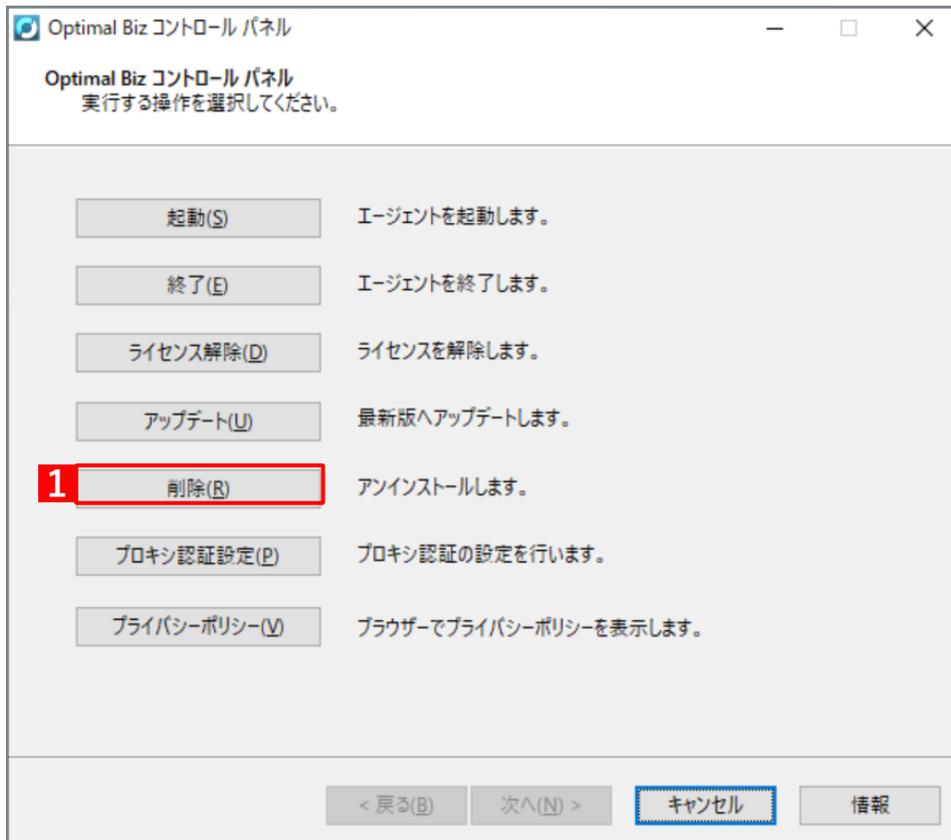
3.6 エージェントを削除する

Windows 端末からエージェントをアンインストールします。本操作でエージェントのアンインストールを行う前に、ライセンスを解除します。

 ライセンスの解除については、以下を参照してください。

 「ライセンスを解除する」 29 ページ

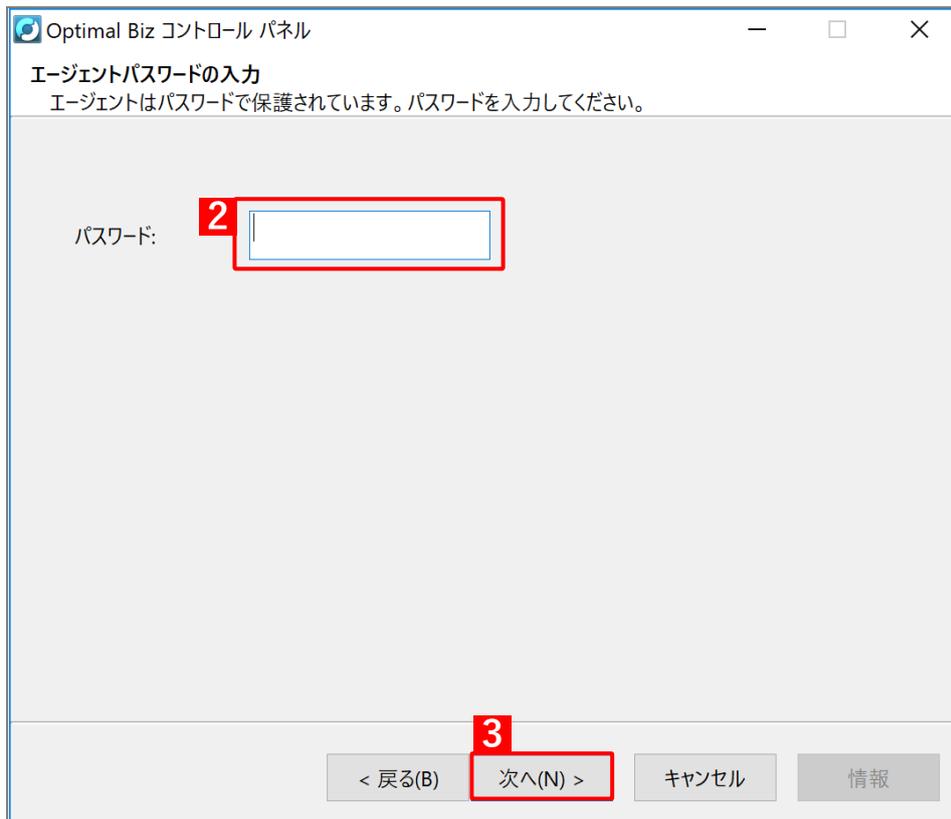
[1] コントロールパネルを表示し、**[削除]** をクリックします。



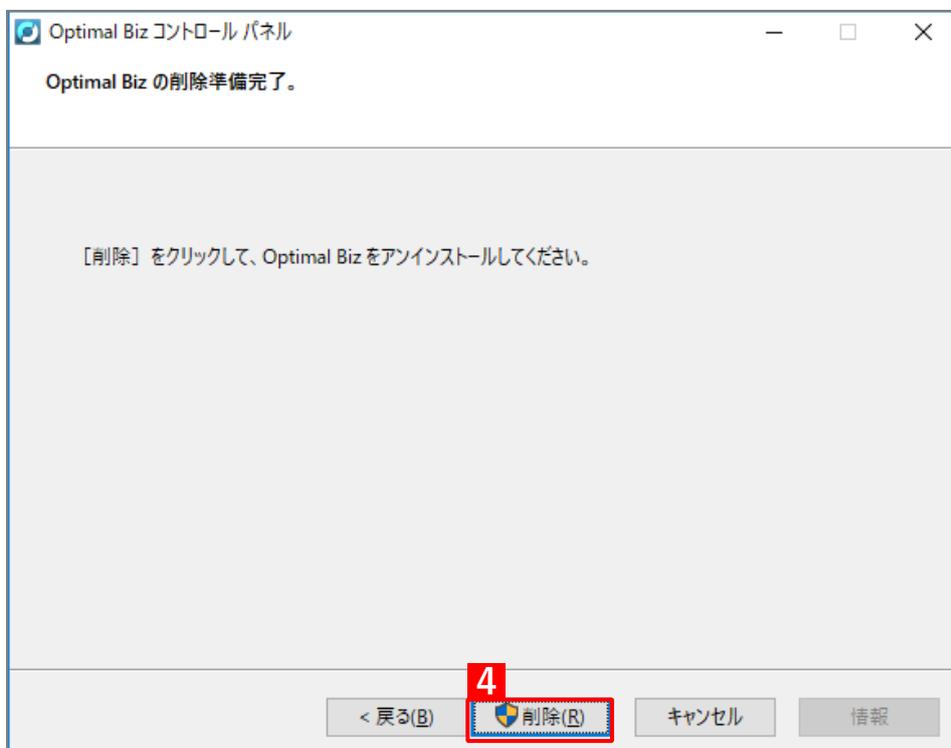
【2】 パスワードを入力します。

【3】 [次へ]をクリックします。

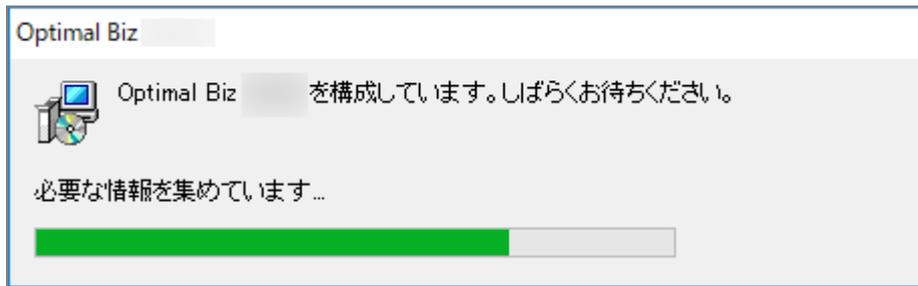
 パスワードは管理者へお問い合わせください。



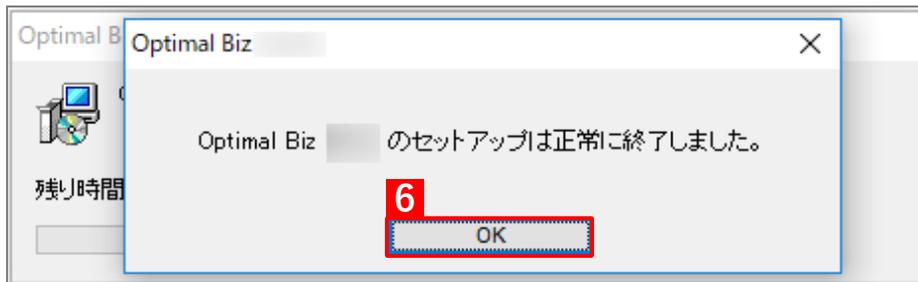
【4】 [削除] をクリックします。



【5】 エージェントの削除を行っています。しばらくお待ちください。

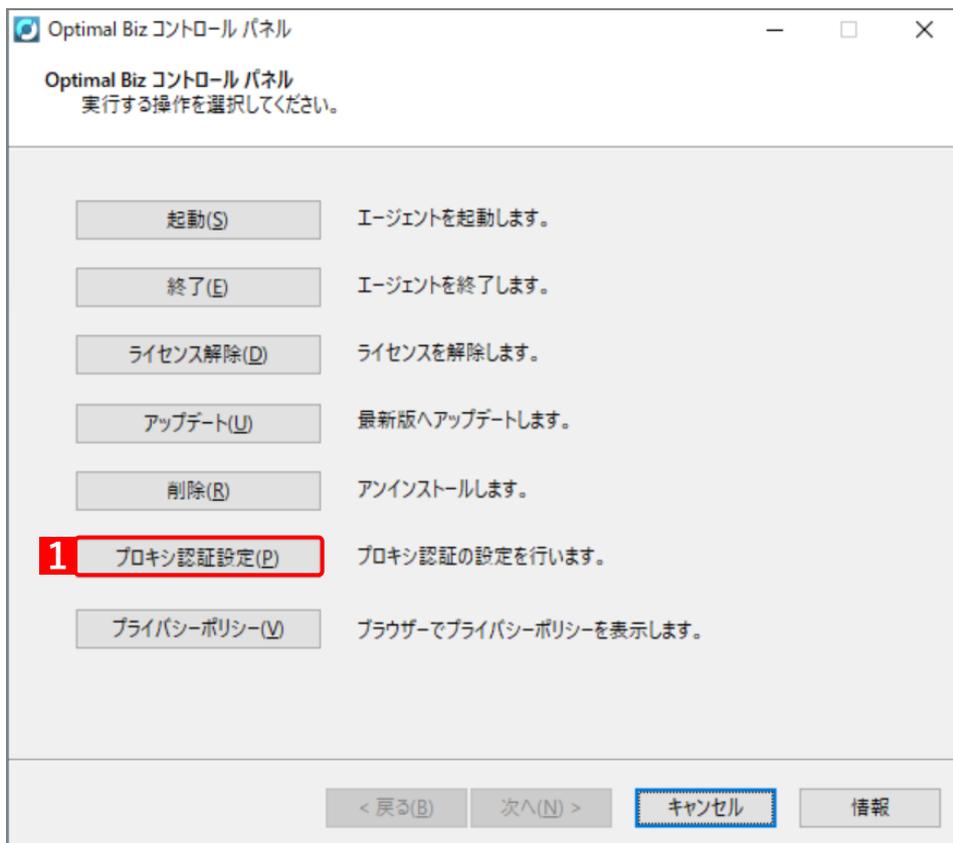


【6】 エージェントの削除が完了しました。[OK] をクリックします。



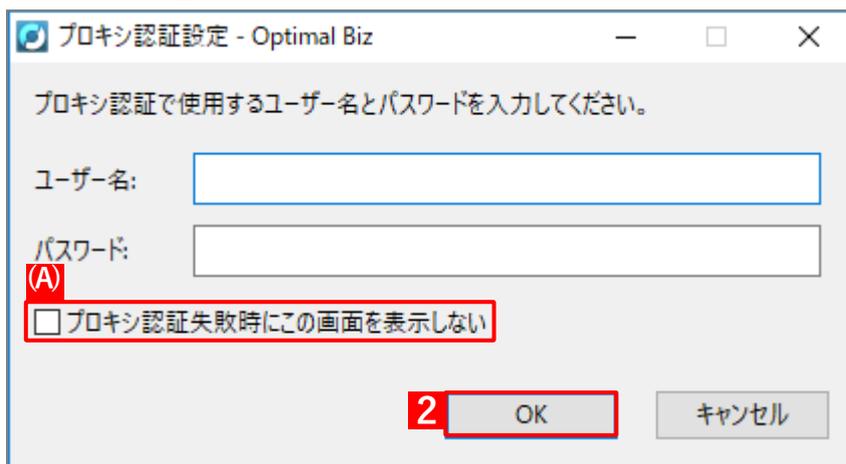
3.7 プロキシ認証の設定を変更する

- 【1】** コントロールパネルを表示し、[プロキシ認証設定] をクリックします。



- 【2】** プロキシ認証で使用するユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

プロキシ認証失敗時にこの画面を表示させなくする場合は、(A)「プロキシ認証失敗時にこの画面を表示しない」にチェックを入れます。



3.8 プライバシーポリシーを表示する

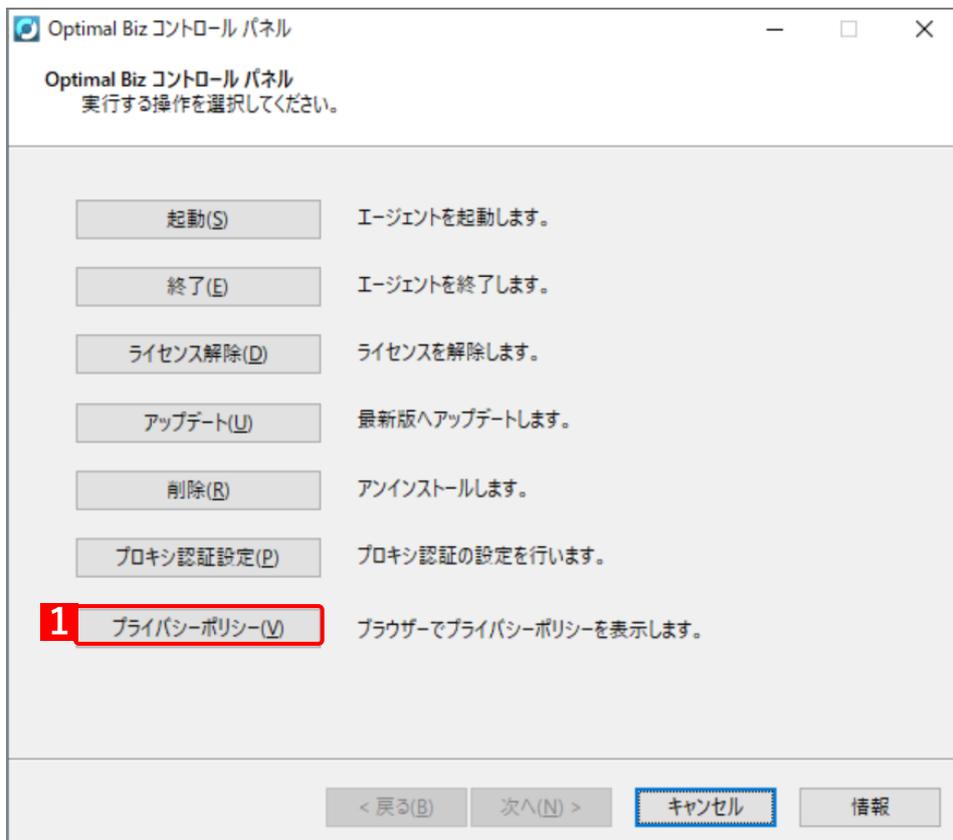
エージェントが認証済みおよび起動中の場合、プライバシーポリシーをブラウザで表示できます。

 ブラウザーを使用できない環境では、プライバシーポリシーは表示できません。

[1] コントロールパネルを表示し、[プライバシーポリシー] をクリックします。

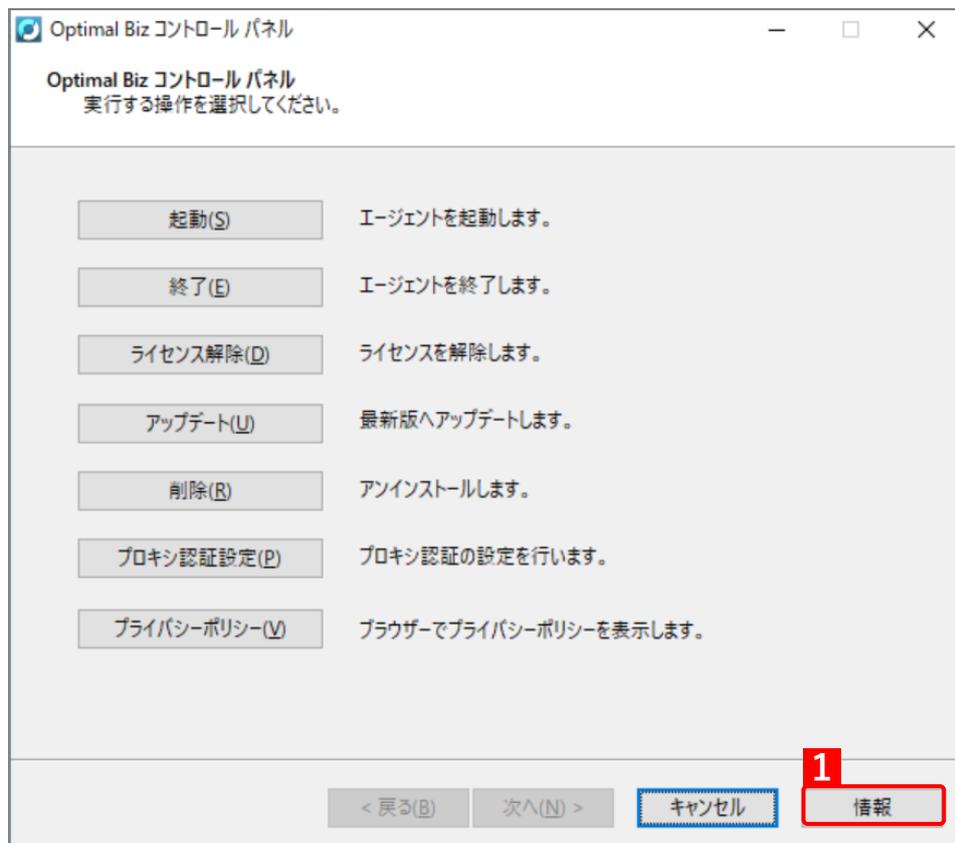
⇒ ブラウザーが起動し、プライバシーポリシーが表示されます。

 エージェントが未認証および停止中の場合は、プライバシーポリシーは表示できません。その旨のエラーメッセージが表示されます。

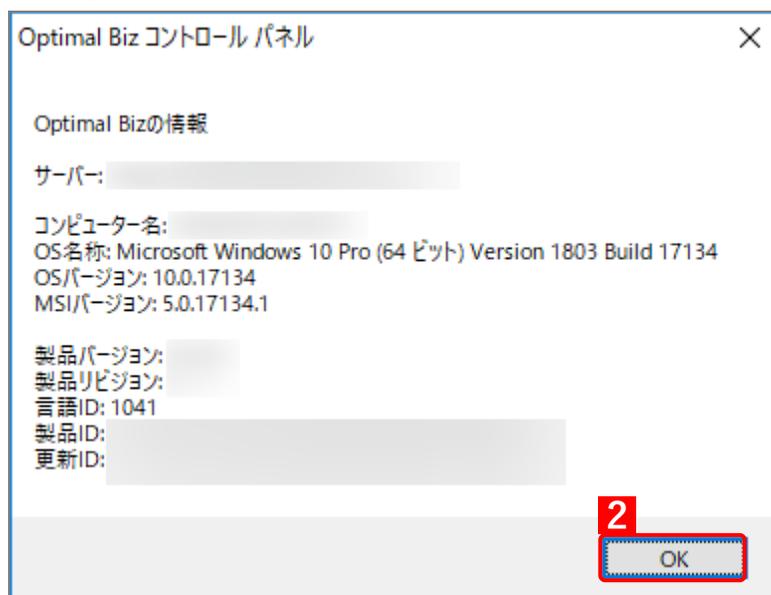


3.9 Windows 端末やエージェントの情報を表示する

- 【1】** コントロールパネルを表示し、[情報] をクリックします。



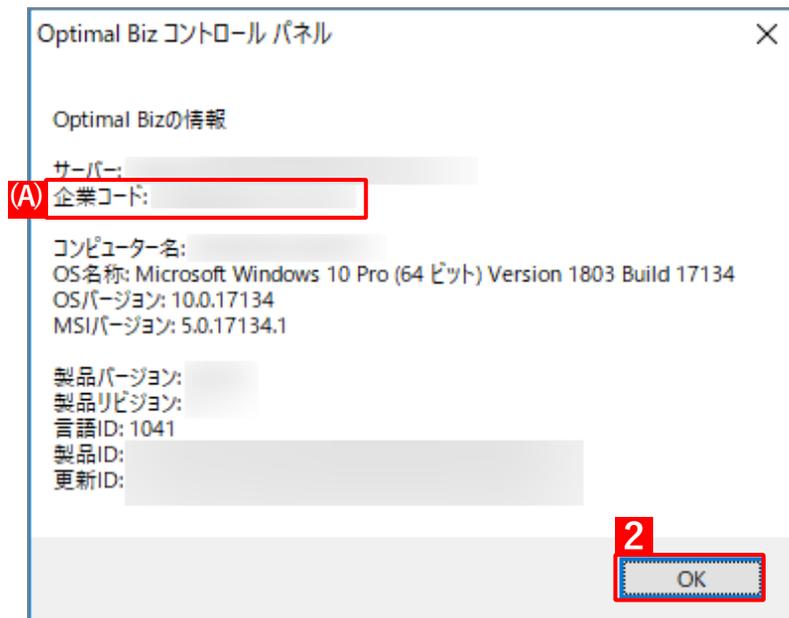
- 【2】** Windows 端末やエージェントの情報画面が表示されました。[OK] をクリックして画面を閉じてください。



✎ 認証されると (A) 企業コードが表示されます。

✎ 認証については、以下を参照してください。

🔗 「ライセンスを認証する」 13 ページ



4 管理サイトからの指示による動作

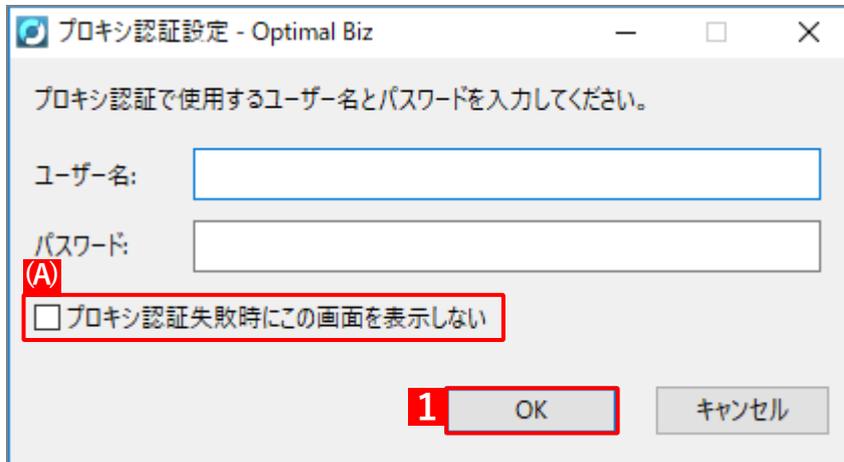
この章では、管理サイトからの指示による Windows 端末の動作について説明します。

4.1 プロキシサーバーが設定された場合

プロキシ認証が必要な環境で管理サイトと同期すると、プロキシ認証の設定画面が表示されます。

[1] プロキシ認証で使用するユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

 プロキシ認証失敗時にこの画面を表示させなくする場合は、(A)「プロキシ認証失敗時にこの画面を表示しない」にチェックを入れます。



プロキシ認証設定 - Optimal Biz

プロキシ認証で使用するユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名:

パスワード:

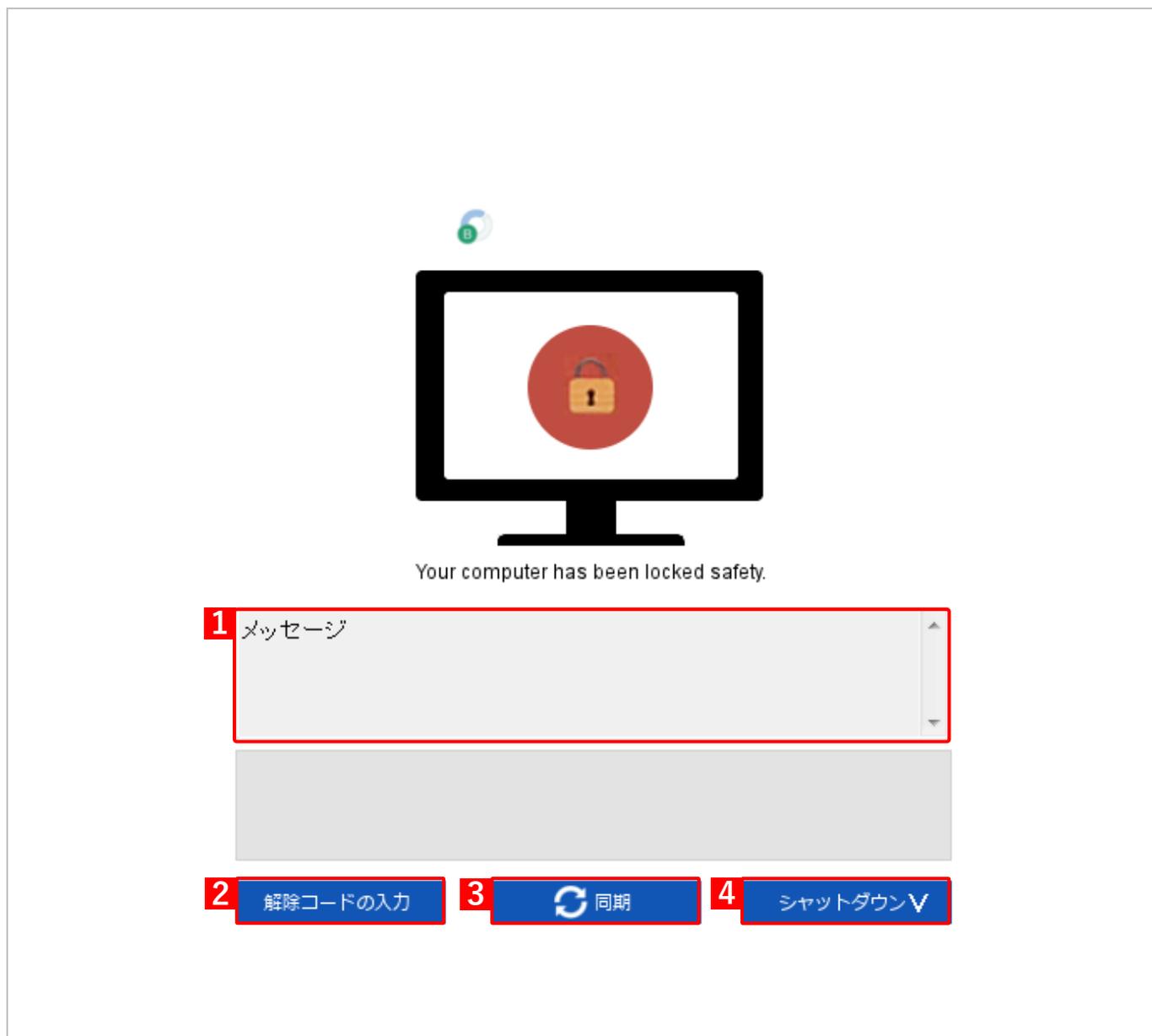
(A) プロキシ認証失敗時にこの画面を表示しない

1 OK キャンセル

4.2 ロック画面が表示された場合

ロック画面の説明や端末がロックされた場合の解除方法、解除コードが変更された場合の更新方法について説明します。

◆ リモートロック画面の表示内容

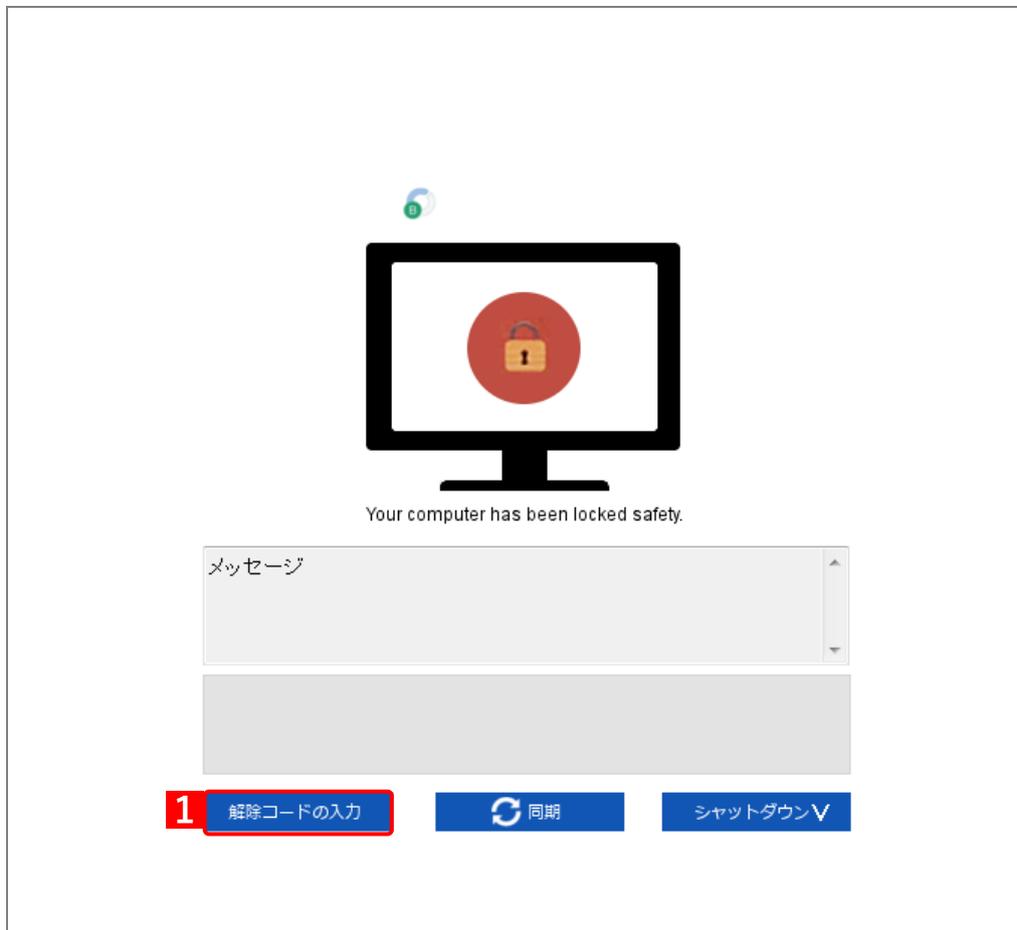


項番	項目	説明
1	メッセージ	管理サイトで設定されたユーザーに対するリモートロック時のメッセージが表示されます。メッセージが設定されていない場合は空白の状態が表示されます。
2	[解除コードの入力]	クリックしてリモートロックを解除します。
3	[同期]	クリックして管理サイトとの同期を行います。
4	[シャットダウン]	クリックすると [スリープ]、[再起動]、[シャットダウン] のメニューが表示されます。

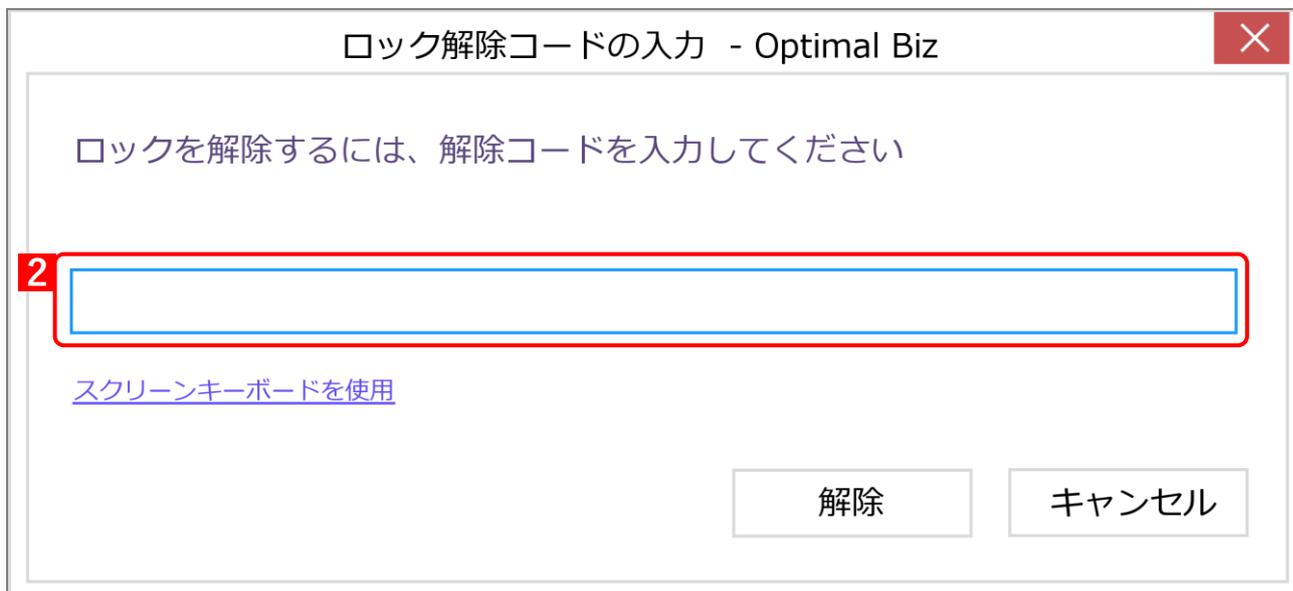
4.2.1 リモートロックの解除コードで解除する場合

管理サイトでリモートロックが行われた場合や、一定時間通信が行われない場合などで Windows 端末にロックがかかってしまったときは、通常管理サイトでロック解除を行います。端末側でロックを解除することもできます。管理サイトでのロック解除処理に時間がかかる場合などはこの方法でロックを解除します。

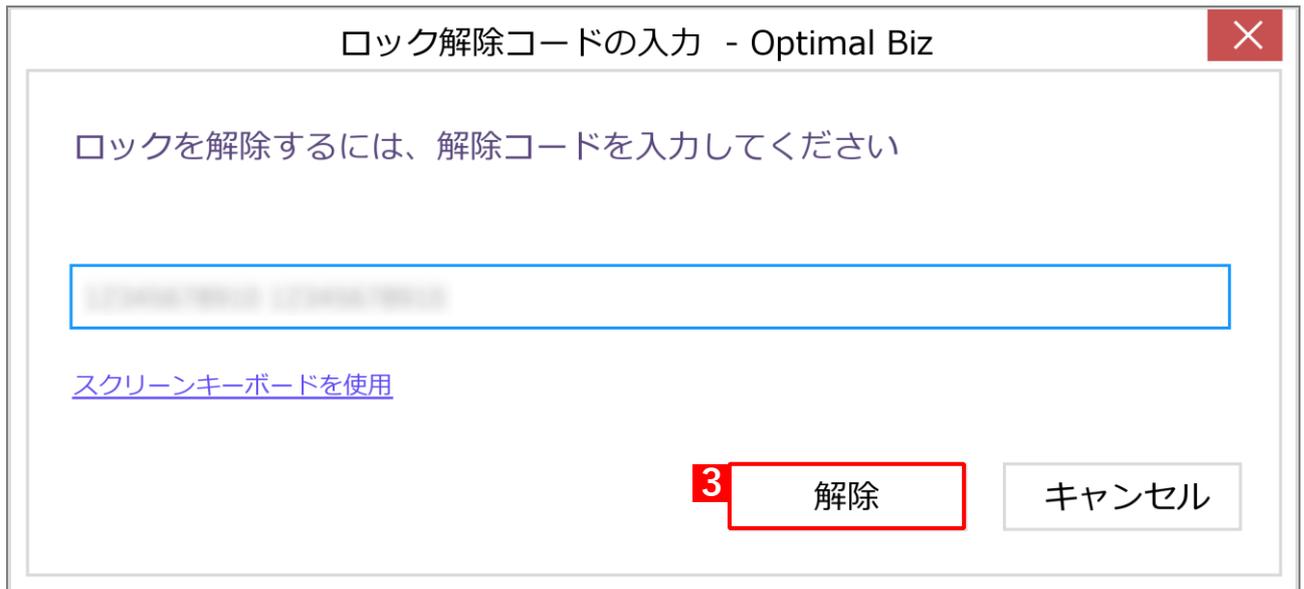
- [1]** リモートロック画面の「メッセージ」の下に表示された「解除コードの入力」をクリックします。



- [2]** 「ロック解除コードの入力」のダイアログが表示されます。解除コードを入力します。

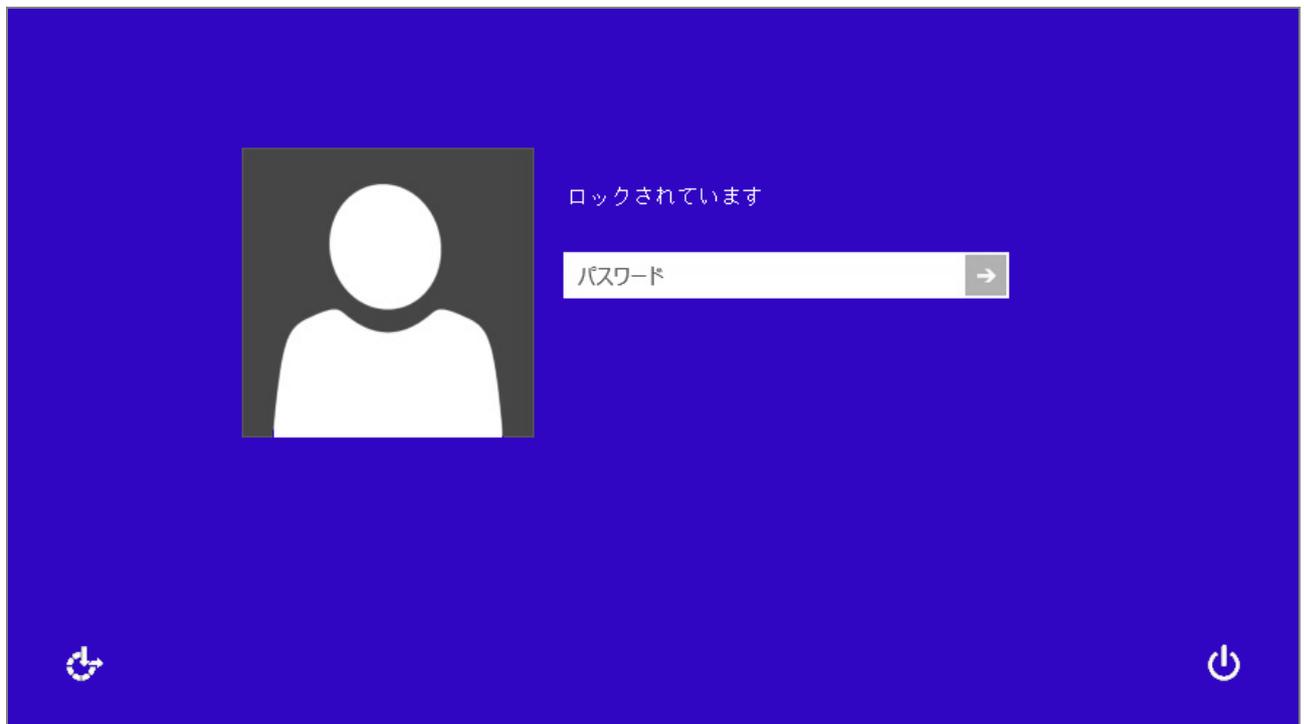


- 【3】** [解除] をクリックします。



The screenshot shows a dialog box with the title "ロック解除コードの入力 - Optimal Biz". Inside the dialog, there is a message: "ロックを解除するには、解除コードを入力してください". Below the message is a text input field. Underneath the input field is a link: "スクリーンキーボードを使用". At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "解除" (Unlock) and "キャンセル" (Cancel). The "解除" button is highlighted with a red box and a red number "3" next to it.

- 【4】** リモートロックが解除されると、Windows 標準のロック画面が表示されます。

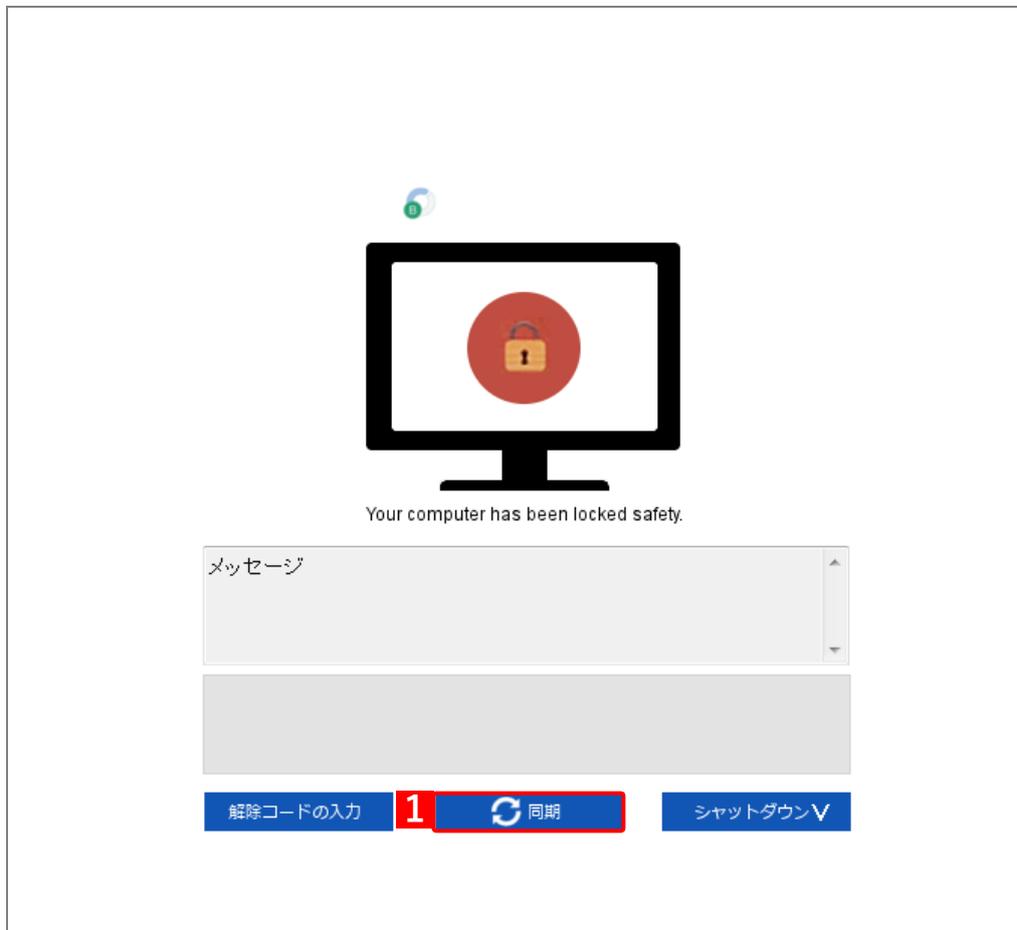


4.2.2 リモートロックの解除コードが更新されていた場合

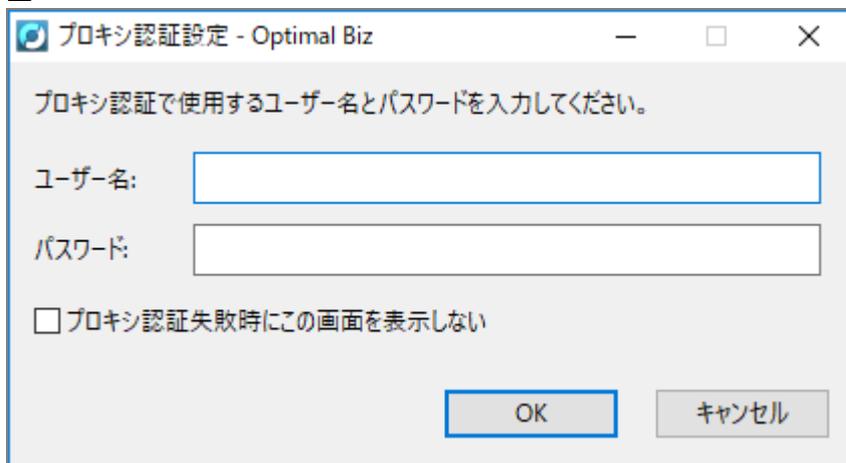
管理サイトでスクリーンロックの解除パスワードが変更されると、パスワードが変更されたことを通知するため、リモートロック画面が表示されます。リモートロック画面で管理サイトと同期を行い、パスワードを更新します。リモートロックの解除コードについては、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Windows」 - 「管理アプリの通信と動作」

[1] リモートロック画面の「メッセージ」の下に表示された「同期」をクリックします。



 プロキシサーバーへのログインが必要な場合は、プロキシ認証設定ダイアログが表示されます。



【2】 同期が完了し、再び [同期] がアクティブになるまでお待ちください。



4.3 ドライブの暗号化を設定された場合

Windows 端末の紛失や盗難に対する備えとして、端末に内蔵されているドライブを暗号化する手順について説明します。

管理サイトから暗号化の設定がされた場合、Windows 端末にメッセージ画面が表示されます。ドライブの暗号化は TPM チップ (※1) の搭載状況によって以下の 2 通りがあります。お使いの端末によって暗号化の方法を選択してください。

- TPM チップ搭載機器の場合
- TPM チップ非搭載機器の場合

※1: ドライブの内容を暗号化する IC チップです。

暗号化は、システムドライブおよびデータドライブが対象です。リムーバブルディスクは対象にならないため、手動で暗号化してください。詳細については、Microsoft 社の Web サイトを参照してください。

 [Microsoft 社 - BitLocker ドライブ暗号化](#)

Windows 端末の種類によってドライブの暗号化が正しく動作しない場合は、BitLocker 以外の暗号化を使用してください。ただし、BitLocker 以外の方法でドライブの暗号化を行った場合は、BitLocker 機能によるリモートワイプはできません。

設定したパスワードは、Windows 端末の起動時に必要です。忘れた場合は起動ができなくなるため注意してください。

暗号化を設定したあとにコンピューターが変更された場合 (USB 接続のハードディスクを接続した場合など) は、Windows が起動する前に 48 桁の回復キーの入力を求められる場合があります。そのときは、管理者に連絡してロックを解除してください。

管理サイトの設定については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Windows」 - 「セキュリティ」 - 「暗号化」

4.3.1 TPM チップ搭載機器の場合

[1] 内容を確認し、[暗号化] をクリックします。



[2] 再起動を求めるダイアログが表示されます。[再起動] をクリックします。

Windows 端末を再起動するとエージェントは起動します。

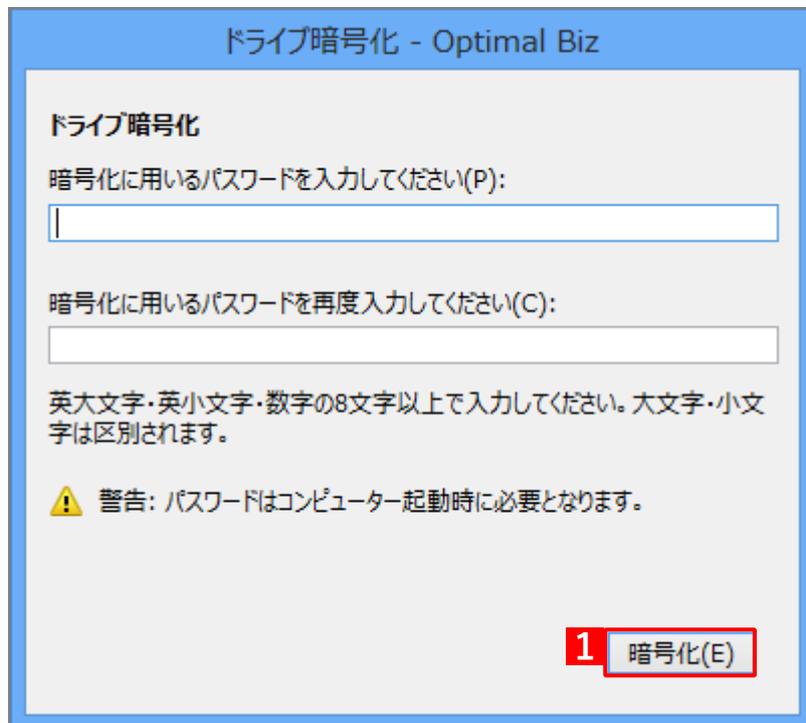


4.3.2 TPM チップ非搭載機器の場合

【1】 パスワードを入力し、[暗号化] をクリックします。

 パスワードは 8 文字以上の大文字または小文字の英数字を入力してください。

 コンピューター起動時に必要となります。本製品では暗号化に使用したパスワードを保存しておりませんので、ご注意ください。



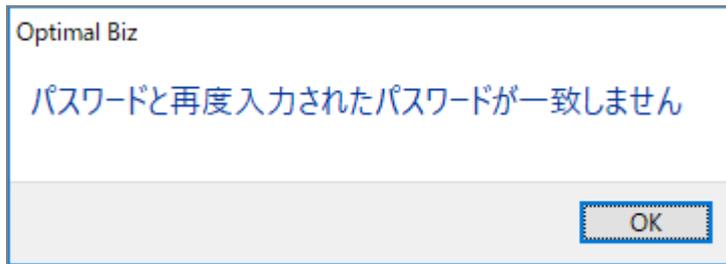
【2】 再起動を求めるダイアログが表示されます。[再起動] をクリックします。

 Windows 端末を再起動するとエージェントは起動します。

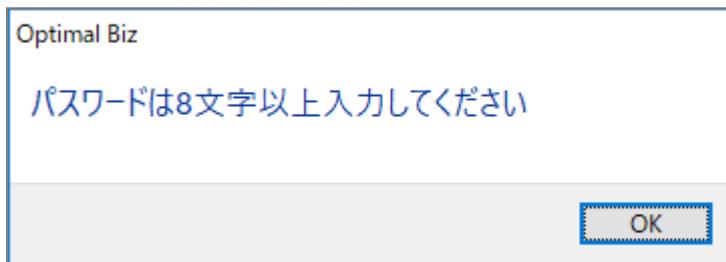


 パスワードの要件を満たしていない場合は、以下のエラーが表示されます。

- パスワードと再入力したパスワードが一致しない場合



- パスワードが8文字未満の場合



4.4 SIM 抜き差し監視が設定された場合

SIM 抜き差し監視は、正規の SIM（本機能を有効にした状態で同期したときに最初に検知される SIM）が抜かれた場合や、正規の SIM 以外の SIM が挿入された場合に、ロック画面を表示して、Windows 端末を操作できない状態にします。

 管理サイトの設定については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Windows」 - 「セキュリティ」 - 「SIM 抜き差し監視」

4.4.1 正規の SIM として登録されるタイミング

- エージェント認証時に「SIM 抜き差し監視」が [有効] に設定されている場合
 - SIM あり
認証後の同期時に検知した SIM を正規の SIM として登録します。
 - SIM なし
初めて検知した SIM を正規の SIM として登録します。
- エージェント認証後に「SIM 抜き差し監視」が [無効] から [有効] に設定が変更された場合
 - SIM あり
「有効」設定を受けたタイミングで挿入されている SIM を正規の SIM として登録します。
 - SIM なし
初めて検知した SIM を正規の SIM として登録します。

4.4.2 正規の SIM から解除されるタイミング

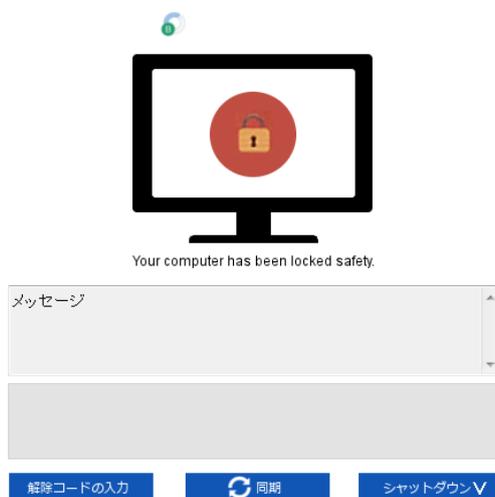
- 「SIM 抜き差し監視」を [有効] から [無効]、または [(設定なし)] に設定を切り替えた場合
- エージェントの認証を解除した場合
- エージェントをアンインストールした場合
 -  エージェントのバージョンアップを行った場合は、正規の SIM から解除されません。

4.4.3 ロック画面が表示されるタイミング

SIM 抜き差し監視機能が有効の場合、以下のタイミングでロック画面が表示されます。

 インターネットへの接続状況は、オンライン/オフラインを問いません。

- 正規の SIM を抜いた場合
- 正規の SIM が抜かれている場合
- 正規の SIM 以外の SIM を挿入した場合
- 正規の SIM 以外の SIM が挿入されている場合
- SIM が挿入されていない場合
- SIM が認識されていない場合



4.4.4 ロック画面を解除する

以下のいずれかの方法で、ロック画面を解除します。

 管理サイトで「SIM 抜き差し監視」を [無効] から [有効] に設定を変更、または設定の割り当てを「(設定なし)」に変更して、同期してもロック画面は解除されません。

- 正規の SIM を挿入する
- 正規の SIM 以外の SIM をすべて抜く
- 解除コードを入力してロック解除を行う

 解除コードは、管理者に問い合わせてください。

4.5 Windows 情報保護 (WIP) が設定された場合



- Windows 情報保護 (WIP) は、2022 年 7 月に Microsoft が廃止しました。
詳細については、Microsoft の Web サイトを参照してください。

 <https://docs.microsoft.com/ja-jp/windows/security/information-protection/windows-information-protection/protect-enterprise-data-using-wip>

- 本機能は使用できません。
-

5 関連アプリの使用方法

この章では、本製品の関連アプリの使用方法について説明します。

 [「リモートサポート」 55 ページ](#)

 [「SaaS ID 連携」 58 ページ](#)

5.1 リモートサポート

リモートサポートに必要なクライアントツール（Optimal Biz Remote）について説明します。

リモートサポートとは、画面を共有してオペレーターに質問をするサービスです。

画面共有だけでなく、オペレーターが遠隔操作で端末の設定をすることもできます。

Optimal Biz Remote を起動し、画面に表示される受付番号をオペレーターに伝えるとリモートサポートを受けることができます。

-  オペレーターの連絡先は管理者にお問い合わせください。
-  リモートサポートを受けるには、インターネットへの接続が必要です。

5.1.1 リモートサポートの動作環境

OS	Windows 10 Home (22H2 以上) Windows 10 Pro (22H2 以上) Windows 10 Education (22H2 以上) Windows 10 Enterprise (22H2 以上) Windows 10 Enterprise 2015 LTSC Windows 10 Enterprise 2016 LTSC Windows 10 Enterprise 2019 LTSC Windows 11 Home (23H2 以上) Windows 11 Pro (23H2 以上) Windows 11 Education (22H2 以上) Windows 11 Enterprise (22H2 以上)  32bit 版と 64bit 版に対応。  Windows 10 Home/Pro、Windows 11 Home/Pro は、64 ビット版 ARM に対応。ただし、同一ネットワーク内の機器情報を収集することができません。  Windows 10、Windows 11 の S モードには、対応していません。Optimal Biz Remote を使用する場合は、S モードを解除してください。ただし、S モードは解除すると再度設定することができません。 S モードの詳細については、以下を参照してください。  S モードの Windows 10 および Windows 11 に関するよくあるご質問-Microsoft サポート
コンポーネント	IE コンポーネント
CPU	1GHz 以上の CPU
メモリ	1GB (32 ビット版) / 2GB (64 ビット版) 以上のメインメモリ
HDD	100MB 以上の空き容量 (システムドライブ)
イーサネットアダプタ	100Base-TX 全二重以上 Microsoft 互換 NDIS6.2 のドライバー以上
ビデオ	800x600x16bit カラー以上 (推奨: 1,024x768x32bit カラー以上) 縦、横共に 4,096 以下

5.1.2 リモートサポートを起動する

Optimal Biz Remote を起動し、表示される受付番号をオペレーターに伝えます。

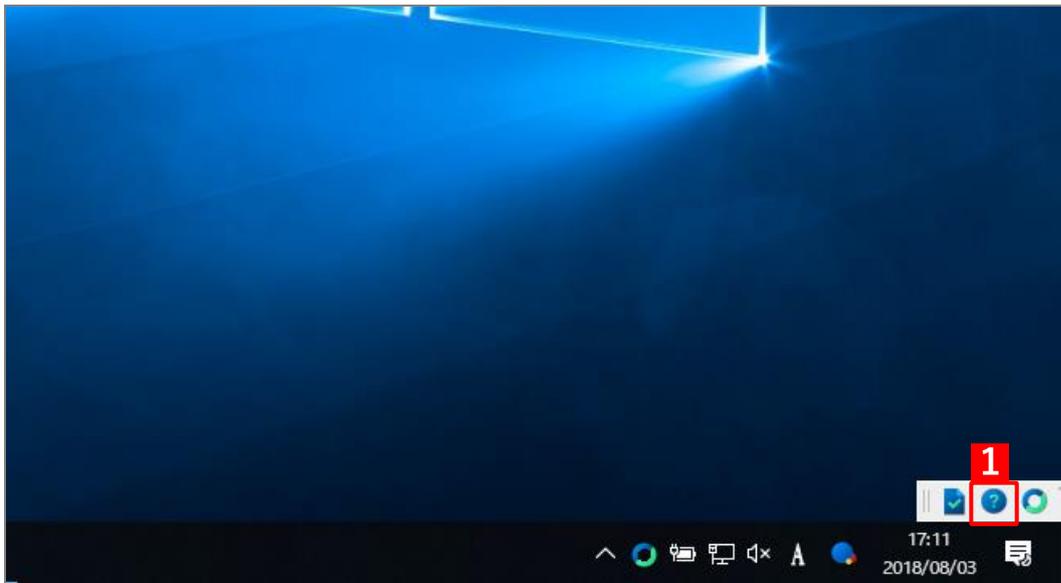
ツールバーから起動する場合

【1】 ツールバーの「リモートサポート起動」をクリックします。

⇒Optimal Biz Remote が起動し、接続中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

📝 ツールバーの表示方法は、以下を参照してください。

🔗 「ツールバーを表示する」16 ページ



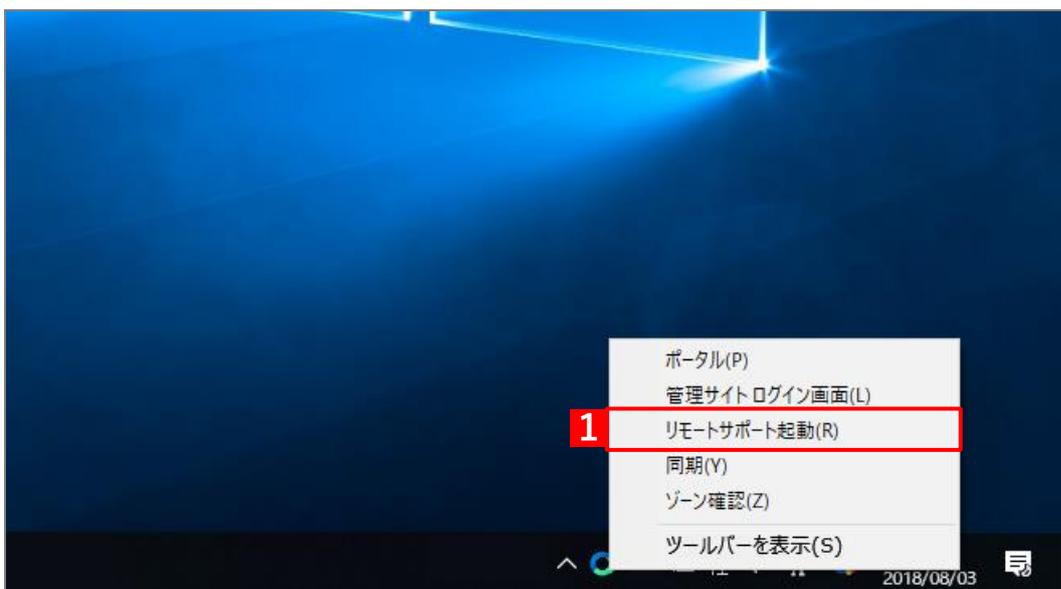
タスクトレイアイコンメニューから起動する場合

【1】 タスクトレイアイコンメニューの「リモートサポート起動」をクリックします。

⇒Optimal Biz Remote が起動し、接続中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

📝 タスクトレイアイコンメニューの表示方法は、以下を参照してください。

🔗 「タスクトレイアイコンメニューを表示する」14 ページ



【2】 受付番号をオペレーターに伝えます。



5.2 SaaS ID 連携



- SaaS ID のオプションサービスは、2022 年 6 月 30 日をもって終了しました。
後継のサービスは「OPTiM ID+」になります。詳細については以下を参照してください。

 <https://www.optim.co.jp/optim-id-plus/>
